

AS/400e



5065 PCI 拡張タワー / 5066 1.8M I/O タワー セットアップ

バージョン 4

AS/400e



**5065 PCI 拡張タワー / 5066 1.8M I/O タワー
セットアップ**

バージョン 4

お願い

本書の情報および本書に記載されている製品をご使用になる前に、vページの『安全と環境上の注意』 および 69ページの『特記事項』を必ずお読みください。

本書は、5065 拡張タワーのバージョン 1 リリース 1 と 5066 1.8M I/O タワーのバージョン 1 リリース 1 (SA88-5058-01)、および改訂版などで特に指示がない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。ただし、本書が適用されるのは、RISC システムの場合だけです。

本書は SA88-5058-00 の改訂版です。ただし、本書が適用されるのは、RISC システムの場合だけです。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原典： SA41-5146-01
AS/400e
Setting Up Your 5065 or 5066 Expansion Unit
Version 4

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.3

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1999, 2000. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000

目次

| | |
|--------------------------|-----|
| 安全と環境上の注意 | v |
| 危険の注記 | v |
| 注意の注記 | vi |
| レーザーに関する安全上の注意 | vi |
| 製品のリサイクルと廃棄 | vii |
| バッテリー返却プログラム | vii |
| 環境を考慮した設計 | vii |

| | |
|---|-----------|
| 本書、5065 PCI 拡張タワー / 5066 1.8M I/O タワー セットアップ (SA88-5058-01) について | ix |
| 前提条件と関連情報 | ix |
| ご意見をお寄せいただく場合 | x |

| | |
|---|----------|
| 第1章 5065 または 5066 のセットアップの準備 | 1 |
| ハードウェア要件 | 1 |
| 5066 の場合のサイト計画に関する考慮事項 | 2 |
| ケーブルのレイアウトの計画 | 2 |
| 光ケーブルの取り扱い | 4 |
| AS/400 システム装置の電源遮断 | 5 |

| | |
|--|----------|
| 第2章 5065 PCI 拡張タワーのセットアップ | 7 |
| AS/400e システム装置に直接 5065 を接続する場合 | 7 |
| 5065 PCI 拡張タワーにケーブルを接続する | 7 |
| AS/400 システム装置にケーブルを接続する | 10 |
| ループに 5065 PCI 拡張タワーを接続する場合 | 12 |

| | |
|---|-----------|
| 第3章 5066 1.8M I/O タワーのセットアップ | 17 |
| カバーを開ける | 17 |
| 5066 コネクタの位置 | 19 |
| 5066 をシステム装置に接続する | 20 |

| | |
|----------------------------|-----------|
| 第4章 設置の完了 | 23 |
|----------------------------|-----------|

| | |
|-------------------------------|-----------|
| 第5章 新しい構成の検証 | 25 |
| 重要プロダクト・データの更新 | 26 |

| | |
|--|-----------|
| 付録A. AS400e システム 620 または S20 へのケーブルの接続 | 29 |
| AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のアクセス・カバーの取り外し | 29 |
| SPCN ケーブルおよび光ケーブルの AS/400e システム 620 またはサーバー S20 への接続 | 33 |
| AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のカバーをもとに戻す | 34 |

| | |
|---------------------------------------|-----------|
| 付録B. 他の拡張装置との間で可能な構成 | 37 |
|---------------------------------------|-----------|

| | |
|--|-----------|
| 付録C. 5065 PCI 拡張タワーまたは 5066 1.8M I/O タワーへのディスク装置の設置 | 39 |
| 新しいディスク装置の最適化 | 39 |
| ディスク装置の設置 | 40 |
| 並行手順 (システム装置が電源オンである場合) | 43 |
| 非並行手順 (システム装置が電源オフである場合) | 50 |

| | |
|--|-----------|
| 付録D. 取り外し可能媒体装置の 5065 PCI 拡張タワーへの設置 | 57 |
| 取り外し可能媒体装置の設置 | 58 |
| 並行手順 (システム装置が電源オンである場合) | 60 |
| 非並行手順 (システム装置が電源オフである場合) | 63 |

| | |
|--|-----------|
| 特記事項 | 69 |
| 電波障害に関する特記事項 | 70 |
| 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示 | 70 |
| 商標 | 70 |

安全と環境上の注意

危険の注記

「危険の注記」では、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性がある危険のある内容を示します。

危険

誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

危険

感電事故を防止するために、システムを据え付けるときには、信号ケーブルを接続する前にすべての装置の電源コード・プラグを電源コンセントから確実に抜いておいてください。(RSFTD202)

危険

感電事故を防止するため、システムに装置を追加したり、システムから装置を取り外す前に、その装置の電源コード・プラグを電源コンセントから確実に抜いておいてください。できれば、装置を追加または取り外す前に、現行システムの全装置の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外しておいてください。(RSFTD203)

危険

感電事故防止のために、雷雨中に通信回線、表示装置、印刷装置、または電話機などのケーブルや避雷器の接続または取り外し作業は行わないでください。(RSFTD003)

危険

電圧の異なる 2 つの物体の表面に触れたときに起こりうる感電事故を防止するために、できれば片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

注意の注記

「注意の注記」では、この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

電気通信に関する記述: この装置の AC 電源コンセントとこの装置の間には過電圧回路があります。これらの回路は、国際電気委員会 (IEC) 664、設置カテゴリ II の規準に合致しています。IEC 664、設置カテゴリ II の規準に合致する電源コンセントを用意するのはお客様の責任です。 (RSFTC214)

注意

IBM 機器は重量があります。どのシステム機器も一人で持ち上げたり移動したりしないでください。 (RSFTC202)

レーザーに関する注記

すべてのレーザーは、クラス 1 レーザー製品に関する DHHS 21 CFR Subchapter J の要件に適合していることが米国で承認されています。米国以外では、IEC 825 (第 1 版 1984) に準拠していること、およびクラス 1 レーザー製品として承認されています。レーザー証明書番号と承認情報については、各製品のラベルを確認してください。

レーザーに関する安全上の注意

注意

本製品には、クラス 1 レーザー製品である CD-ROM が含まれる場合があります。 (RSFTC240)

注意

IBM レーザー・モジュールはすべて、通常の操作中、ユーザーの保守中、または決められたサービス状態の間、作業者がクラス 1 レベルを超えるレーザー放射を受けないように設計されています。データ処理環境では、クラス 1 の電力レベル以上で動作するレーザー・モジュールを含むシステム・リンクを送信する機器が含まれる場合があります。このような理由で、光ファイバー・ケーブルの端をのぞいたり、コンセントを開けたりすることは、決して行なわないでください。光ファイバー・ケーブルの組立てやコンセントの検査または修理は、専門的な訓練を受けたサービス技術員だけが行なうことができます。 (RSFTC243)

製品のリサイクルと廃棄

本システムの構成部品のうち、構造部品や回路カードなどはリサイクル施設があればリサイクル可能です。現在 IBM では、下取りする製品以外、IBM 機器を顧客から回収し、リサイクルすることはしておりません。電子機器の分解、再利用、リサイクル、または廃棄は、業者に委託することができます。詳細については IBM 営業担当員にお問い合わせください。

本システム装置には、鉛のはんだを含んだバッテリーや回路カードが内蔵されています。この装置を廃棄する場合には、これらのバッテリーを回路ボードを取り外し、関連法規に従って、廃棄するかリサイクルしなければなりません。本書には、それぞれのバッテリー固有の情報が該当する箇所に記載されています。

バッテリー返却プログラム

米国において、IBM は、使用済みのバッテリーとバッテリー・パックの再利用、リサイクル、および正しい処分の収集プロセスを確立しました。当装置のバッテリーの正しい処分法については、IBM (1-800-426-4333) にお問い合わせください。連絡の際は、バッテリーの上に記載されている IBM 部品番号を調べておいてください。米国以外におけるバッテリーの処分については、その地域の産業廃棄処分施設にお問い合わせください。

環境を考慮した設計

製品や処理の品質改善の一環として IBM は環境を考慮したシステムの設計を行っています。その成果には、製造過程でのクラス I オゾン破壊物質の使用廃止、製造廃棄物の削減、製品のエネルギー効率の向上などがあります。詳細については IBM 営業担当員にお問い合わせください。

注意

光リンク・カードにはレーザーが含まれています。焼却はしないでください。光リンクを廃棄するときは、関連法規を順守してください。(RSFTC236)

本書、5065 PCI 拡張タワー / 5066 1.8M I/O タワー セットアップ (SA88-5058-01) について

本書は、5065 PCI 拡張タワーまたは 5066 1.8M I/O タワーのセットアップに関する情報を紹介します。新しい拡張タワーは自分で設置できます。ハードウェアの設置にかかる時間は約 1 ～ 3 時間です。

拡張タワーの設置を自分では行わないということもできます。IBM® または IBM 特約店に連絡して、有料での拡張タワーの設置を依頼してください。

下記に、新しい拡張タワーの設置手順の概要を示します。

- 設置の準備を行う。
- AS/400 システム装置の電源を切る。
- 拡張タワーにケーブルを接続する。
- 拡張タワーからのケーブルを、AS/400 システム装置 (または AS/400 拡張装置) に接続する。
- AS/400 システム装置および拡張タワーの電源を入れる。
- 新しい構成を検証する。

前提条件と関連情報

AS/400 システム情報は、以下の Web サイトで検索できます。

<http://www.as400.ibm.com>

Technical Studio リンクからは、*AS/400 Site Preparation Guide* などの関連情報を検索することができます。

AS/400 のテクニカル情報を検索するための開始点として、AS/400 Information Center をご使用ください。Information Center には、AS/400e™ Information Center CD-ROM (SK88-8040) または次の Web サイトからアクセスすることができます。

<http://www.as400.ibm.com/infocenter>

<http://publib.boulder.ibm.com/pubs/html/as400/infocenter.htm>

AS/400 Information Center には、論理区画、クラスター化、Java™、TCP/IP、Web サービス、およびセキュア・ネットワークなどの重要なトピックが含まれています。また、AS/400 オンライン・ライブラリーや AS/400 Technical Studio などの Web サイトへのインターネット・リンクも含まれています。Information Center には、Information Center とオンライン・ライブラリーとの情報の相違点をハイレベルに解説するリンクが含まれています。

ご意見をお寄せいただく場合

読者からのフィードバックは、正確で高品質の情報を提供するために重要です。本書や本書以外の AS/400 の資料についてのご意見は、本書の中表紙裏に記載されている URL からお送りください。

以下の事項を必ず明記してください。

- 資料名
- 資料番号
- ご意見の該当ページ番号またはトピック

第1章 5065 または 5066 のセットアップの準備

本章では、5065 または 5066 1.8M I/O タワーのセットアップを行う前に必要な事項について説明します。次の作業が含まれます。

1. 拡張タワーの開梱 (拡張タワーに付属の説明書を参照)。
2. ケーブルのレイアウトの計画。
3. システム装置の電源遮断。

セットアップのプロセスを開始する前に、新しい拡張タワーをどこに設置するかを慎重に計画する必要があります。大きさ、重量、セキュリティ、そして環境上の要因を含むいくつかの要素を考慮する必要があります。IBM は、AS/400 の計画に関する詳細情報を、以下の Web サイトで提供しています。

<http://www.as400.ibm.com>

この Web サイトの Hot Topics の Technical Studio を選択することにより、AS/400 Site Preparation Guide およびその他の関連情報を検索することができます。

ハードウェア要件

新しい拡張タワーを発注した際、コンフィギュレーターはユーザーのシステムの目録を入手しています。このコンフィギュレーターは、その時点でユーザーが光カードあるいは SPCN カードを追加する必要があるかを判別しています。

光カードまたは SPCN カードが新しい拡張タワー・パッケージの中に入っていた場合には、IBM または IBM 特約店に連絡を取り、これらの機構の設置を手配してください。

5065 ハードウェア要件

5065 PCI 拡張タワーをシステム装置に直接設置しようとしている場合には、次の前提条件を満たす必要があります。

- 使用可能なシステム電源制御ネットワーク (SPCN) コネクター。
- 使用可能な 2688 光リンク・プロセッサ (OLP) カード (1 枚の OLP カードで 2 つの拡張タワーをサポートできます)。

5065 PCI 拡張タワーを別の拡張装置に接続しようとしている場合は、その拡張装置には以下が必要です。

- 使用可能な SPCN コネクター。
- 使用可能な 2682 OLP カード。

5066 ハードウェア要件

5066 1.8M I/O タワーを設置するには、次の前提条件が必要です。

- 使用可能なシステム電源制御ネットワーク (SPCN) コネクター。

- 使用可能な 2688 光リンク・プロセッサ (OLP) カード (1 枚の OLP カードで、5066 の中の両方の拡張タワーをサポートできます)。

5066 の場合のサイト計画に関する考慮事項

5066 の重量とサイズ

表1 は、5066 1.8M I/O タワーの重量と寸法を示しています。

表1. 5066 の重量と大きさ

| | |
|-----------|---------|
| 重量 (フル構成) | 725 kg |
| 幅 | 650 mm |
| 奥行き | 1020 mm |
| 高さ | 1800 mm |

5066 の床荷重は 420 kg/m² です。5066 の大きさと重量のため、次のことを実行する必要があります。

注意

下記に定義している隣接装置との間のスペースに余裕がない場合、床荷重が著しく増加することになります。

- 設備担当者に相談して、5066 用に安全なサイトを決定してください。
- 5066 の前後にそれぞれ 762 mm のスペースを設けます。
- 5066 の左右にそれぞれ 127 mm のスペースを設けます。

ケーブルのレイアウトの計画

ケーブルをどのように配線するかを決めるにあたっては、ユーザーの設置計画に従うとともに以下の事項に留意してください。

- 安全上の問題が発生しないようにすること。
- ケーブルを損傷しないようにすること。

5066 の電源コードの接続

5066 に付属の電源コード用に適したコンセントを用意していただく必要があります。上側の電源コードの使用可能な長さは、下側の電源コードの長さに比べて 1.2 m 短くなっています。

冗長リンク

新しい拡張タワーにはディスク装置があります。したがって、ケーブルのレイアウトを計画する際には、このディスク装置を保護するために冗長リンク構成を使用する必要があります。冗長リンク とは、主たるリンクが何らかの損傷を受けた場合にシステムが使用できる、2 次的な光ケーブル・リンクのことです。冗長リンク構成は、拡張タワーとシステム装置との間に、追加の光ケーブル・リンクを接続しておくことにより、作成することができます。

1 つの拡張タワーで冗長リンク構成を持つようにケーブルを計画する方法については、図1を参照してください。2 つの拡張タワーをリンクさせようとしている場合は、図2 を参照してください。5066 をセットアップする場合は、4ページの図3 を参照してください。

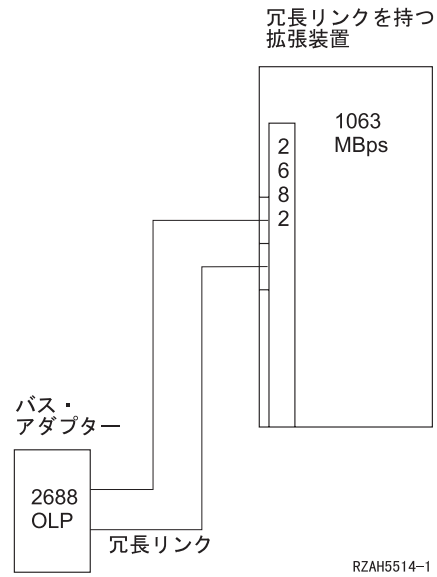


図1. 1 つの拡張タワーの場合の冗長リンクの計画

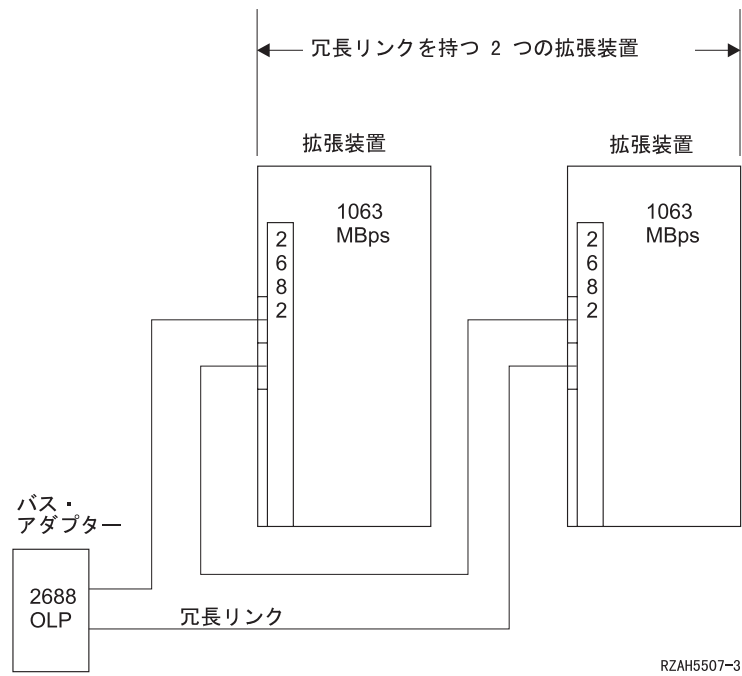


図2. 2 つの拡張タワーの場合の冗長リンクの計画

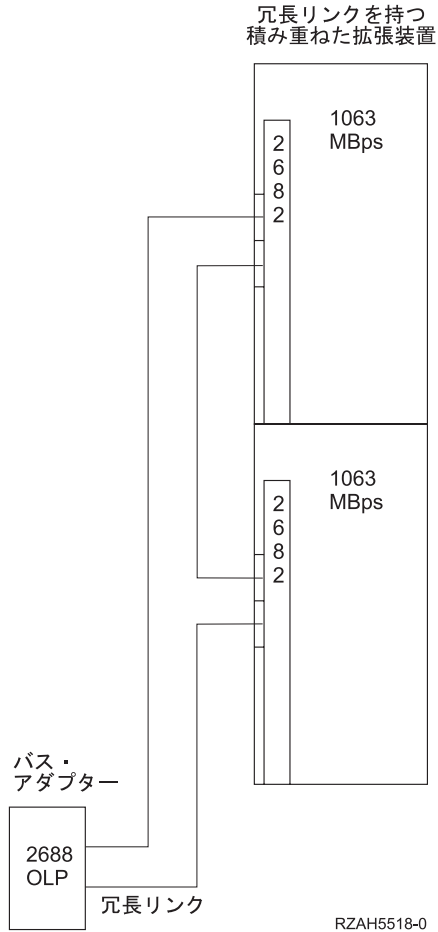


図3. 積み重ねた拡張タワー (5066) の冗長リンクの計画

光ケーブルの取り扱い

光ケーブルを取り扱う場合、以下のガイドラインを順守するようにしてください。

考慮事項:

- 光ケーブルは、損傷しないように丁寧に扱うこと。
- 光バス・ケーブルは、ペンチまたはそれに類する工具ではさまないこと。
- ケーブル・コネクタを外すときにケーブルを引張って外さないこと。
- ケーブルを外す前に、5ページの図4を参照すること。
- ケーブルの外部の覆いを切断するおそれのある鋭利なものやとがったものの近くに、ケーブルを置かないこと。
- 異常に高温または低温なものの上に、ケーブルを置かないこと。
- ケーブルは、直径 16.0 cm (6.3 インチ) 以上にきつく巻かないこと。
- ケーブルは、半径 3.0 cm (1.2 インチ) 以上にきつく曲げないこと。
- 光ケーブルは、工具でつかまないこと。
- コネクタをクリーニングしてケーブルを接続する準備ができるまで、コネクタのダスト・カバーを取り外さないこと。

- ダスト・キャップが付け放しになっていた場合、接続する前にコネクタをクリーニングすることが推奨される。
コネクタをクリーニングする必要がある場合、光ファイバー・クリーニング・キット (IBM 部品番号 5453521) に入っている説明に従ってください。
- ケーブルを接続する時は、ハウジングまたは光ファイバー・ケーブルの終端を損傷しないよう、丁寧に行うこと。
- ケーブルを設置する前に図5 を参照すること。

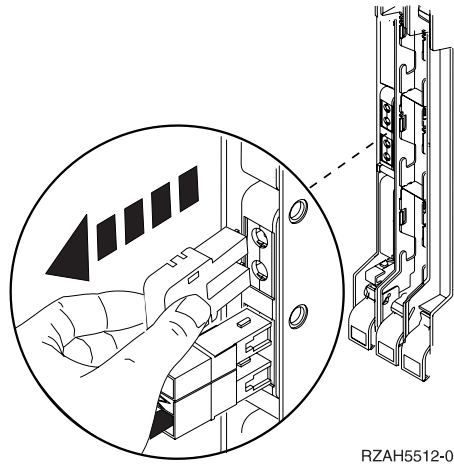


図4. 光ケーブルの取り外し

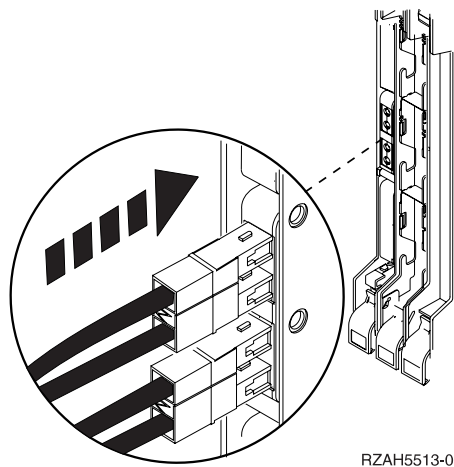


図5. 光ケーブルの設置

AS/400 システム装置の電源遮断

新しい拡張タワーを AS/400 システム装置に接続する前に、その AS/400 システム装置を電源遮断する必要があります。以下の手順でシステム装置を電源遮断します。

1. ご使用のオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新のバックアップがあるか確認してください。直近の PTF を適用した時以降に行ったバックアップであれば、それを使用できます。

- __ 2. ユーザーのシステム装置で論理区画を設置している場合は、AS/400 Information Center を参照してください。AS/400 Information Center で、論理区画を持つシステムの電源遮断についての説明を検索することができます。
- __ 3. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 4. すべてのジョブが完了していたら、AS/400 コマンド行に PWRDWN SYS *IMMED と入力して実行キーを押します。

注: 設置中に問題が生じた場合は、IBM 特約店またはサービス提供者に連絡してください。

- __ 5. システム装置が完全に電源遮断された後に、システム装置に接続されているすべてのパーソナル・コンピューター (PC) および装置類 (印刷装置や表示装置など) を電源オフします。
- __ 6. システム装置に接続されているすべての電源コード (印刷装置や表示装置などの電源コード) を抜きます。
- __ 7. システム装置の電源コードをコンセントから抜きます。

5065 PCI 拡張タワーをセットアップする場合は、7ページの『第2章 5065 PCI 拡張タワーのセットアップ』を参照してください。5066 1.8M I/O タワーをセットアップする場合は、17ページの『第3章 5066 1.8M I/O タワーのセットアップ』を参照してください。

第2章 5065 PCI 拡張タワーのセットアップ

本章では、5065 PCI 拡張タワーをセットアップする方法を説明します。ここでは次の 2 種類の方法を説明します。

- 『AS/400e システム装置に直接 5065 を接続する場合』
- 12ページの『ループに 5065 PCI 拡張タワーを接続する場合』

ご自分の構成に最適な方法を選んで実行してください。

AS/400e システム装置に直接 5065 を接続する場合

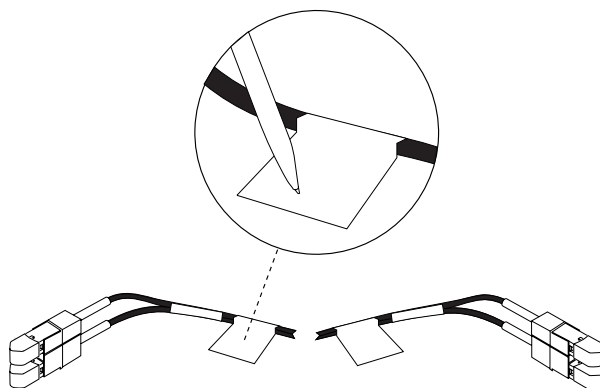
システム装置に直接 5065 を接続する場合の作業は、主に次の 2 つのステップで行います。

1. 5065 拡張タワーにケーブルを接続する。
2. システム装置にケーブルを接続する。

5065 PCI 拡張タワーにケーブルを接続する

SPCN ケーブルおよび光ケーブルを 5065 PCI 拡張タワーに設置するには、次のステップに従ってください。

1. 拡張タワーと共に出荷された資料の中にある、光ケーブル用のラベルのシートを探します。(拡張タワーと共に出荷された資料の中にラベルがない場合は、ユーザーが作成してください。)
2. 拡張タワーと共に出荷された資料の中にある、光ケーブルおよび SPCN ケーブルを探します。
3. 光ケーブルの両端にラベルを付けます。
4. 一方の光ケーブルには **0** とラベルを付けます。他方の光ケーブルには **1** とラベルを付けます。



RV2D094-0

図 6. 光ケーブルのラベルの付け方

5. **A** で示すラッチを外し、拡張タワーの背面のカバーを開きます。

- __ 6. 必要であれば **B** で示すラッチを外して背面のカバーを取ります。

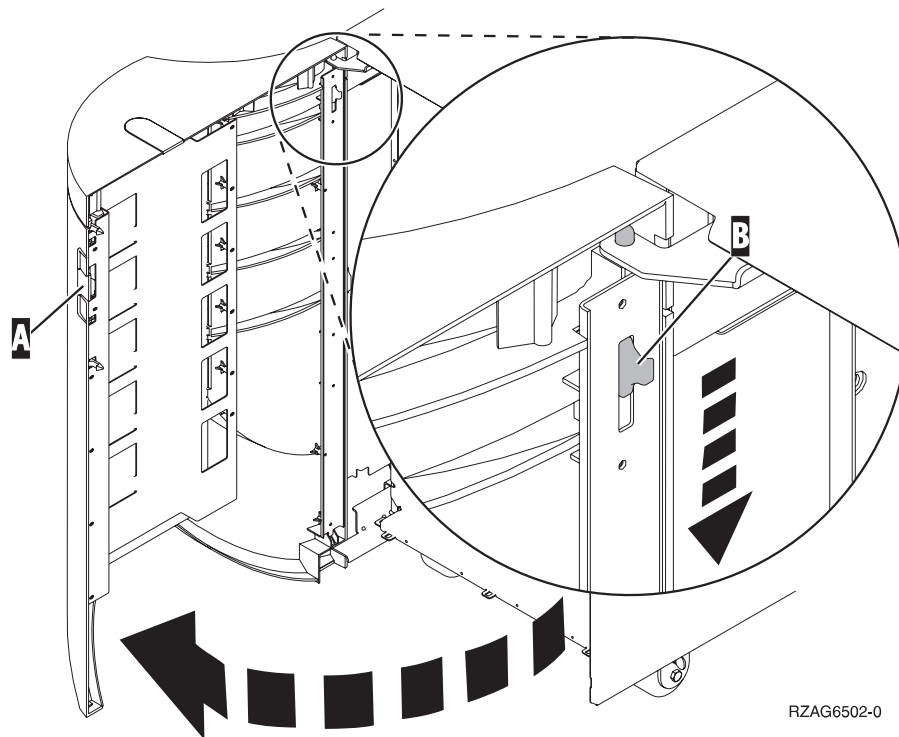


図7. 5065 PCI 拡張タワーの背面のカバーを開く

- __ 7. 9ページの図8 を参照して、SPCN ケーブル (部品番号 21F9469) を以下の手順を行うことにより設置します。
- __ a. SPCN ケーブルの一方の端を、拡張タワーの SPCN コネクタ J15 に差し込みます。
 - __ b. つまみねじを締めます。

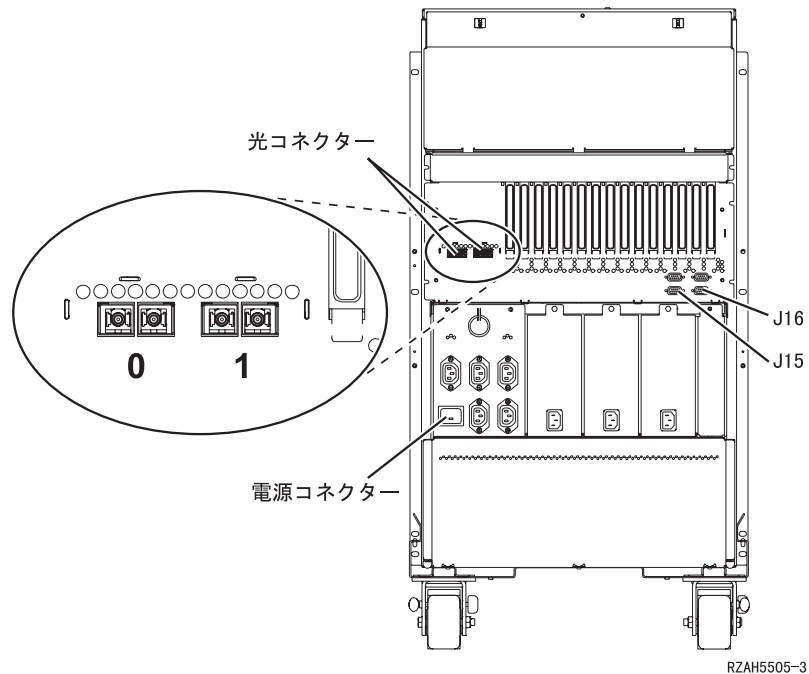
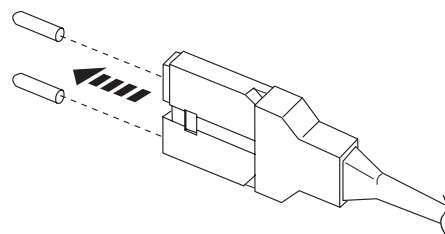


図8. 5065 のコネクタの位置

- __ 8. 光ケーブルを以下の手順で設置します。
 - __ a. **0** というラベルを付けた光コネクタを、拡張タワーの背面に置きます。
 - __ b. 光コネクタから終端プラグを取り外します。

考慮事項: ケーブル・コネクタを設置する際は、ハウジングを損傷したり、光ファイバー・ケーブルの終端に傷を付けないよう、特に注意してください。

- __ c. 設置しようとしている光ケーブルから光プラグ・ダスト・カバーを取り外します。
- __ d. **0** というラベルを付けた光ケーブルを、コネクタに設置します。



RV2D880-0

図9. 光プラグ・ダスト・カバーの取り外し

- __ e. 8a から 8d までの手順を繰り返し、**1** というラベルを付けた光ケーブルを、**1** というラベルの付いた光ケーブル・コネクタに設置します。
- __ 9. 拡張タワーと一緒に開梱した電源コードを探します。
- __ 10. 電源コネクタを拡張タワーの背面に置きます。
- __ 11. 電源プラグ・コネクタをおおっているラベルを取り除きます。

注意:

この時点では、拡張タワーのプラグをコンセントにつながないでください。

- __ 12. 電源コードを拡張タワーに差し込みます。
- __ 13. 拡張タワーの背面のカバーを閉じます (または、はめこみます)。

AS/400 システム装置にケーブルを接続する

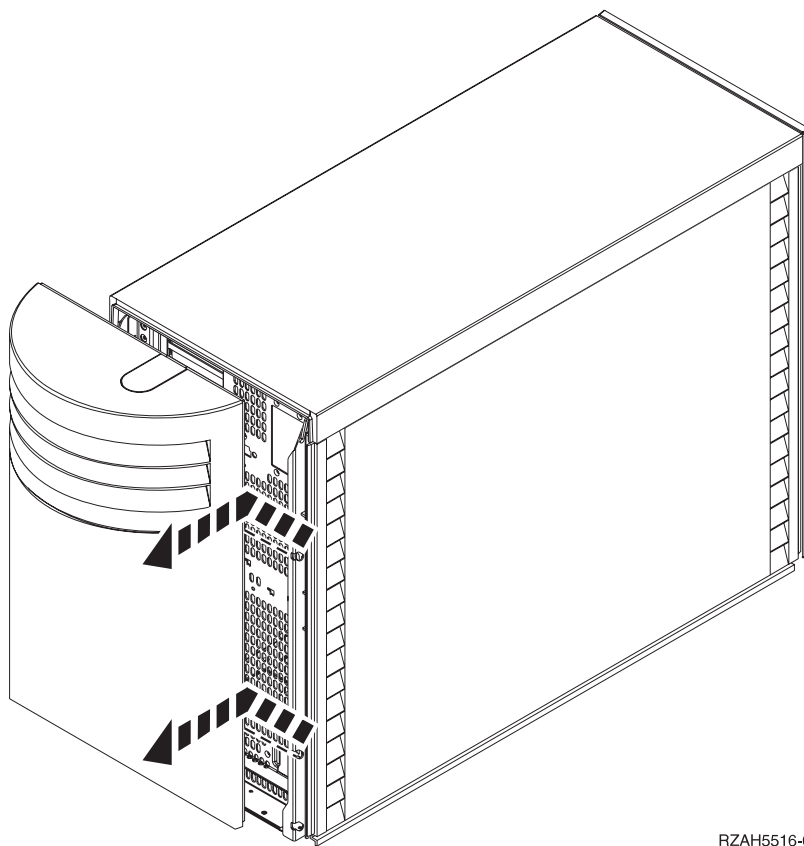
光ケーブルおよび SPCN ケーブルを AS/400 システム装置に接続する前に、システム装置の背面のカバーを取り外す必要があります。

ご使用のシステム装置が AS/400e システム 620 または S20 である場合は、背面のカバーと共に側面のアクセス・カバーも取り外す必要があります。29ページの『付録A. AS400e システム 620 または S20 へのケーブルの接続』に進み、側面カバーを取り外す必要があるかどうか決めます。

ご使用のシステム装置が AS/400 システム 620 でない場合は、次のステップを実行してください。

SPCN ケーブルおよび光ケーブルをシステム装置に接続するには、次のようにします。

- __ 1. 図10 を参照し、システム装置の背面のカバーの上部の角を持って手前に持ち上げるようにして引き、カバーを取り外します。



RZAH5516-0

図 10. システム装置の背面カバーを取り外します。

- __ 2. 拡張タワーから出ている SPCN ケーブルを、SPCN というラベルが付いた後ろ側のコネクタに差し込みます。
- __ 3. つまみねじを締めます。

光ケーブルをシステム装置に接続するには、次のようにします。

- __ 1. 光ケーブルを AS/400e システム 620 または AS/400e サーバー 720 に設置しようとしている場合は、ステップ 7へ進んでください。それ以外のサーバーに光ケーブルを設置しようとしている場合は、ステップ2へ進んでください。
- __ 2. システム装置の背面にある 2688 OLP カード (図11) を探します。

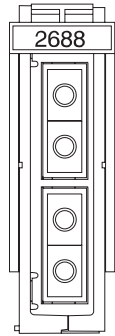


図 11. 2688 OLP カード

- __ 3. 光カード・コネクタから終端プラグを取り外します。
- __ 4. **0** というラベルを付けた光ケーブルを、システム装置の上の光ケーブル・コネクタに押し込みます。
- __ 5. **1** というラベルを付けた、拡張タワーからの光ケーブル (冗長リンク用) を、下の光ケーブル・コネクタに設置します。
- __ 6. 12ページの7fへ進んでください。
- __ 7. 光ケーブルを AS/400e システム 620 または AS/400e サーバー 720 に設置しようとしている場合は、続けて以下を行ってください。
 - a. システム装置の背面で、次のようなラベルの付いた光ケーブル・コネクタを探します。

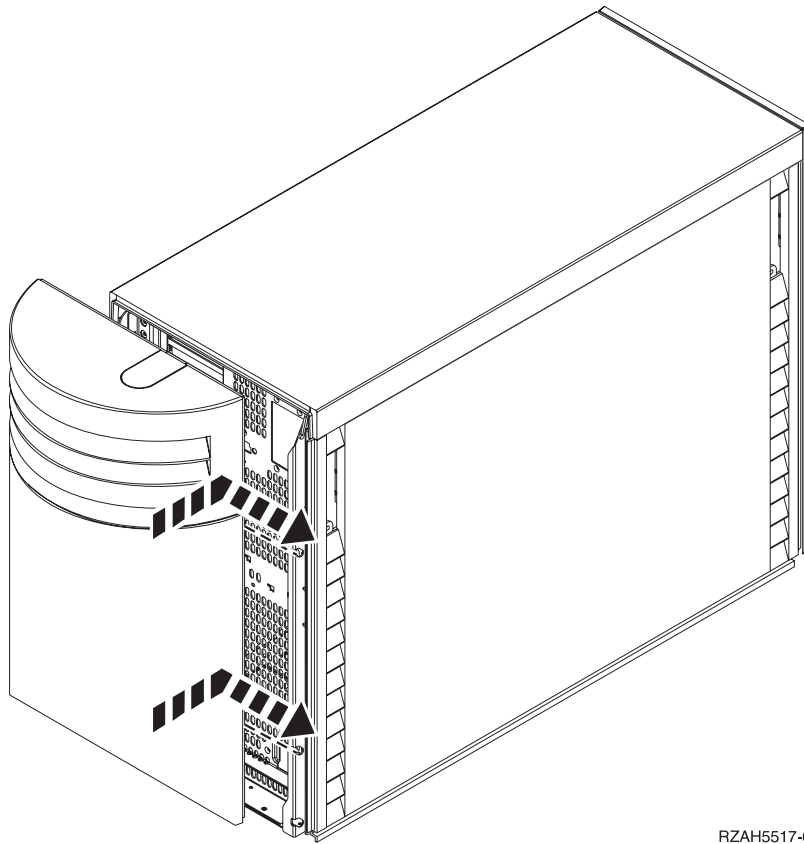
| | |
|--------|--------|
| BUS 06 | BUS 05 |
| BUS 04 | BUS 03 |

- b. 使用可能な次の光ケーブル・コネクタの組み合わせを選択します。
- c. 光ケーブル・コネクタから終端プラグを取り外します。
- d. **1** というラベルのついた光ケーブルを、偶数の番号の光ケーブル・コネクタ (BUS 06 または BUS 04) に設置します。
- e. **0** というラベルのついた光ケーブルを、奇数の番号の光ケーブル・コネクタ (BUS 05 または BUS 03) に設置します。

例: 使用可能なケーブル・コネクタが BUS 06 と BUS 05 であれば、次のようになります。

- 1) **1** というラベルを付けた光ケーブルを BUS 06 に設置します。

- 2) **0** というラベルを付けた光ケーブルを BUS 05 に設置します。
- f. システム装置の背面カバー (図12) を次のようにしてはめます。
- __ 1) カバーの上部の角を持ちます。
 - __ 2) ピンとスロットの位置を合わせます。
 - __ 3) カバーを押し下げます。
 - __ 4) 25ページの『第5章 新しい構成の検証』へ進んでください。



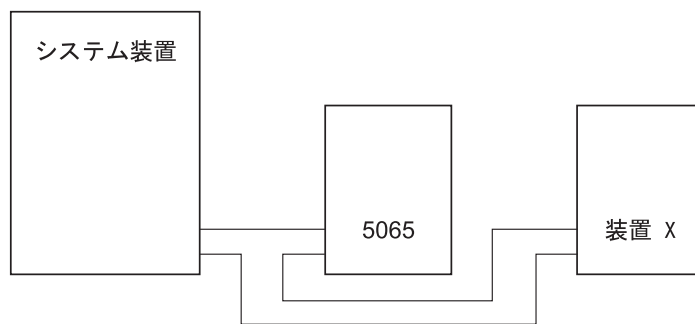
RZAH5517-0

図 12. 背面カバーのはめ方

ループに 5065 PCI 拡張タワーを接続する場合

5065 をすでにシステム装置に接続されている拡張装置に接続する場合は、次の手順で行います。システム装置の電源は、作業を進めるまでに遮断しておいてください。ご使用のシステム装置の電源が遮断されていない場合、5ページの『AS/400 システム装置の電源遮断』を読んで、システム装置の電源遮断を行ってください。

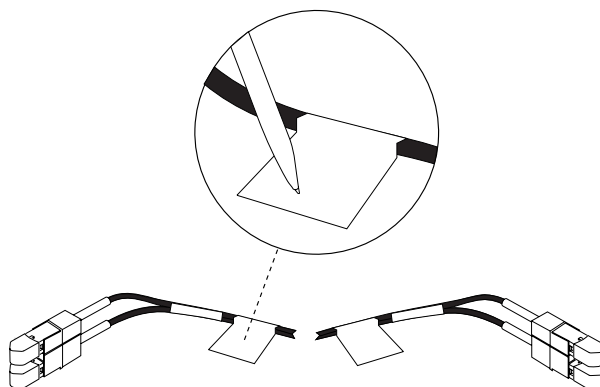
この手順をわかりやすくするために、13ページの図13 に示すように、もう一方の拡張装置を装置 X と呼びます。



RZAQ6600-0

図 13. 別の拡張装置への 5065 の接続

- 1. 拡張タワーと共に出荷された資料の中にある、光ケーブル用のラベルのシートを探します。拡張タワーと共に出荷された資料の中にラベルがない場合は、ユーザーが作成してください。
- 2. 拡張タワーと共に出荷された資料の中にある、光ケーブルおよび SPCN ケーブルを探します。
- 3. 光ケーブルの両端にラベルを付けます。
- 4. 光ケーブル **1** にラベルを付けます。



RV2D094-0

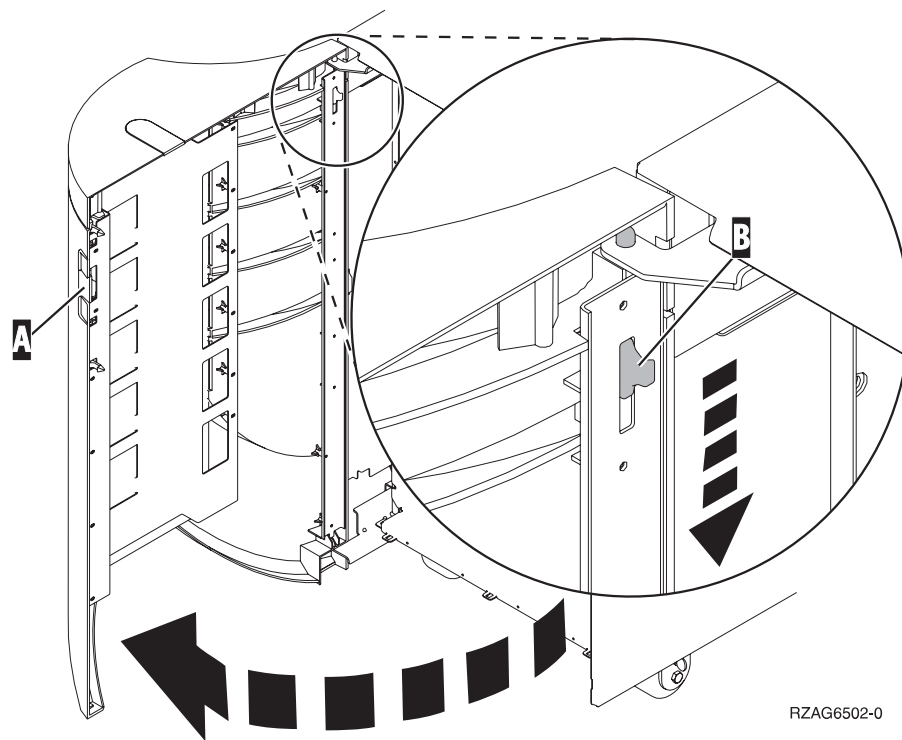
図 14. 光ケーブルのラベルの付け方

- 5. 装置 X の背面カバーの上部の角を持って手前に持ち上げるようにして引き、カバーを取り外します。
- 6. 14ページの図15 を参照して、装置 X の背面の 2682 コネクターを見付けます。



図 15. 2682 OLP カード

- ___ 7. 2682 コネクターから上部の光ケーブル (システム装置と装置 X の間の光ケーブル) を外します。システム装置からはケーブルを切り離さないでください。
- ___ 8. 装置 X のコネクター J15 から SPCN ケーブル (システム装置と装置 X の間の SPCN ケーブル) を外します。
- ___ 9. **A** で示すラッチを外し、拡張タワーの背面のカバーを開きます。
- ___ 10. 必要であれば **B** で示すラッチを外して背面カバーを取ります。



RZAG6502-0

図 16. 5065 PCI 拡張タワーの背面のカバーを開く

- 11. 16ページの図17 を参照して、装置 X から外した光ケーブルを、**0** というラベルの付いた 5065 上の光コネクタに接続します。これで、この光ケーブルはシステム装置と 5065 の間を通るようになるはずです。
- 12. 装置 X から外した SPCN ケーブルのプラグを、5065 の SPCN コネクタ J15 に差し込みます。これで、このケーブルはシステム装置と 5065 の間を通るようになるはずです。
- 13. つまみねじを締めます。

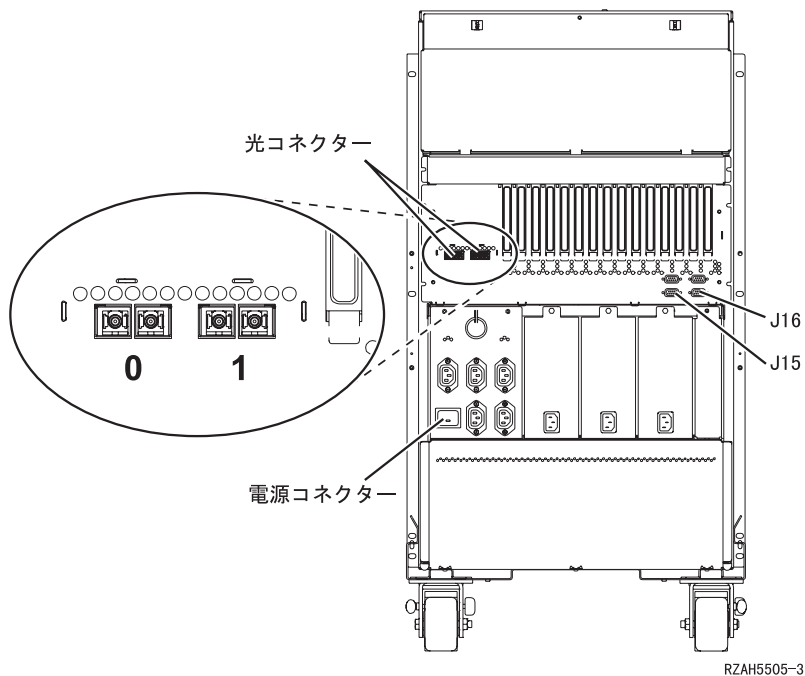


図 17. 5065 のコネクタの位置

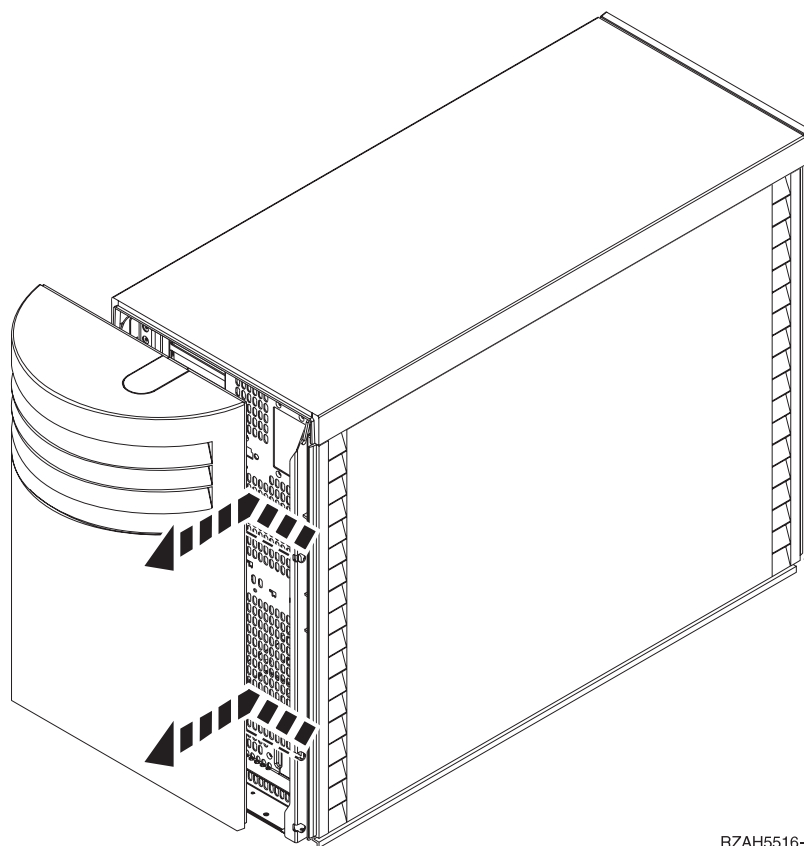
- __ 14. **1** というラベルを付けた光ケーブルのコネクタから終端プラグを取り外します。
- __ 15. **1** というラベルを付けた光ケーブルの一方の端を、5065 上の **1** というラベルの付いた光コネクタに設置します。
- __ 16. **1** というラベルの付いたケーブルのもう一方の端を、装置 X の 2682 コネクタの下側の光コネクタ (14ページの図15) に設置します。
- __ 17. 5065 に付属の SPCN ケーブルの端を、5065 のコネクタ J16 に接続します。
- __ 18. SPCN ケーブルのもう一方の端を、装置 X のコネクタ J15 に接続します。
- __ 19. 電源ケーブルを 5065 に接続します。
- __ 20. 背面カバーを装置 X と 5065 に取り付けます。
- __ 21. 23ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

第3章 5066 1.8M I/O タワーのセットアップ

カバーを開ける

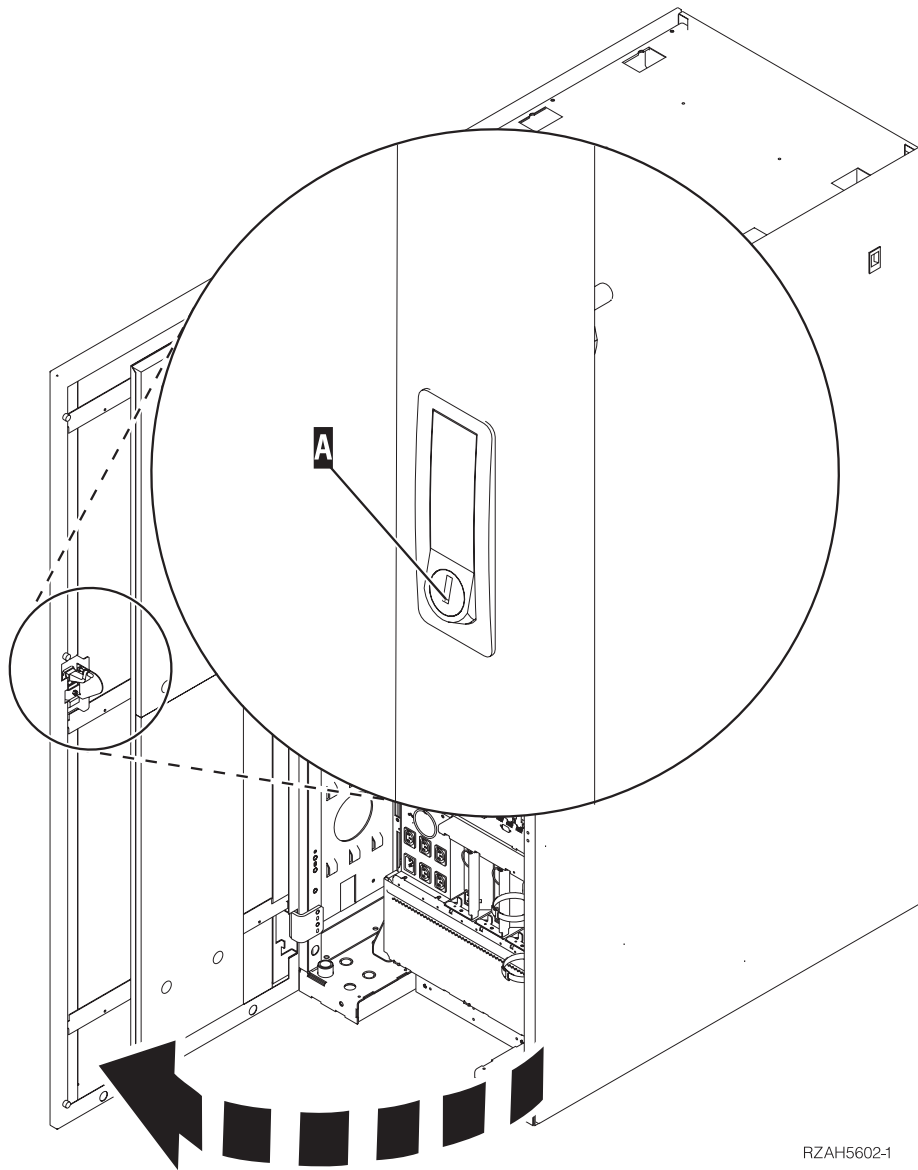
5066 をセットアップするには、まず先に、AS/400 システム装置の背面カバーを取り外して、5066 の背面カバーを開ける必要があります。この手順を実行して、これらのカバーを開け、取り外してください。

1. システム装置の背面カバーは、手前に持ち上げるようにして外します。
2. 5066 の背面カバーは、**A** (18ページの図19) のラッチを押して開けます。



RZAH5516-0

図 18. システム装置カバーを取り外す



RZAH5602-1

図 19. 5066 背面カバーを開ける

5066 コネクターの位置

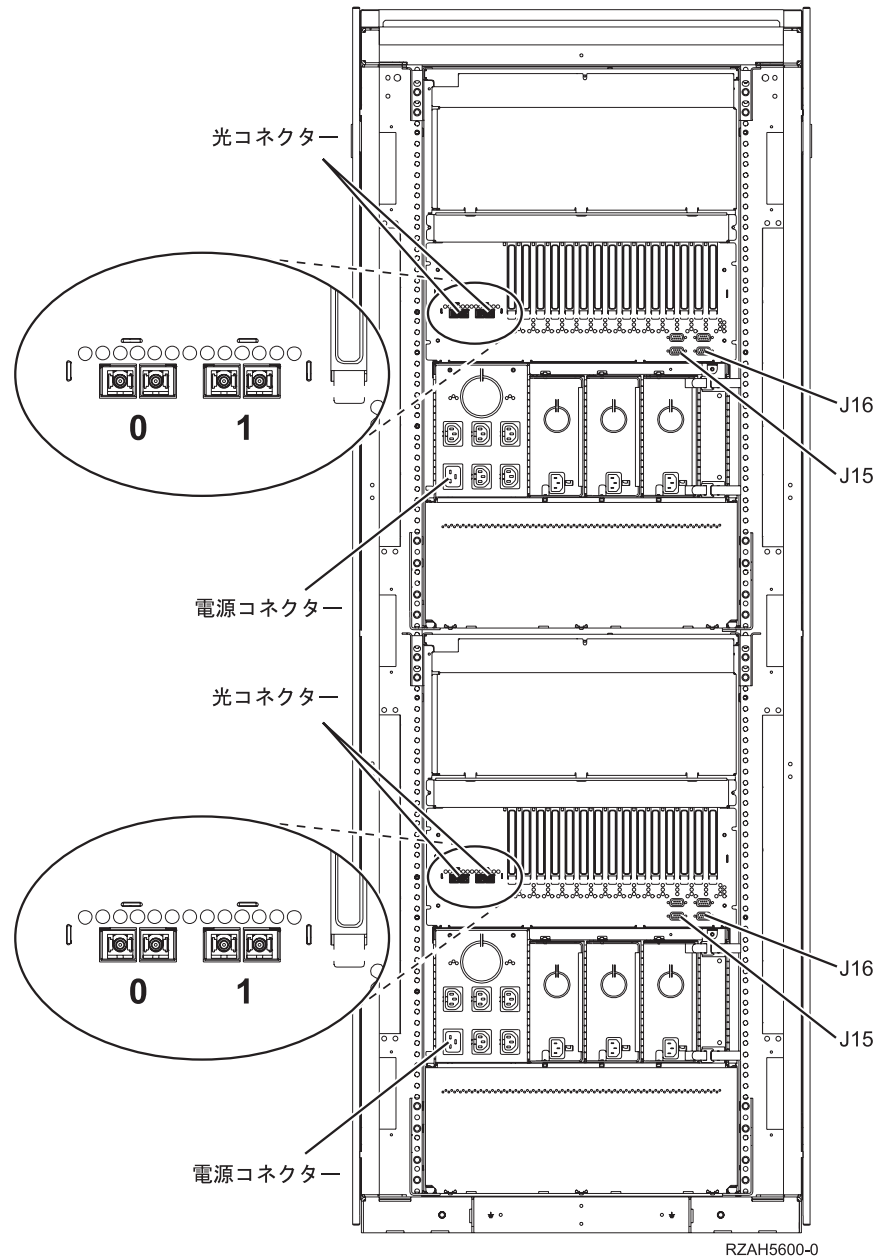


図 20. 5066 コネクターの位置

5066 をシステム装置に接続する

次の手順を実行して、5066 をシステム装置に接続します。

5066 には、1 つのフレームの中に 2 つの独立した 5065 PCI 拡張タワーが含まれています。この手順では、上部 5065 を **5066-002** と呼び、下部 5065 を **5066-001** と呼びます。作業を開始する前に、図21 および 図22 を参照してください。

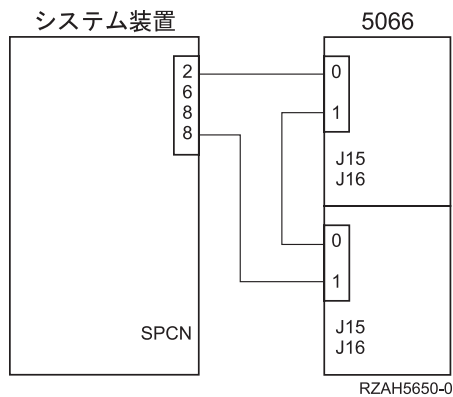


図 21. 光ケーブルの接続

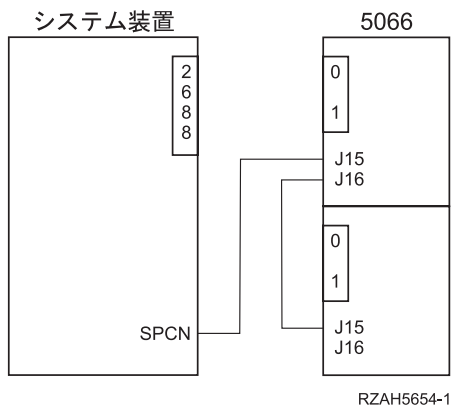
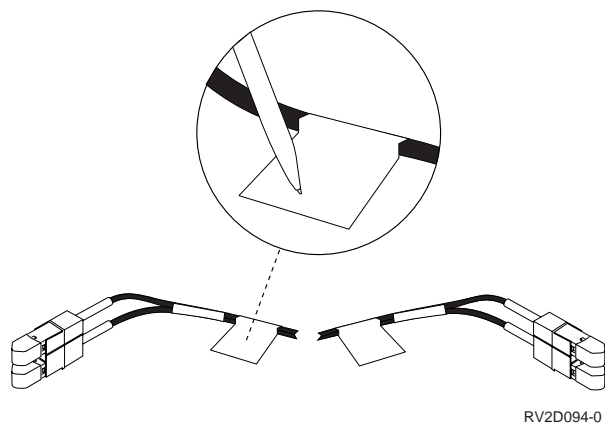


図 22. SPCN ケーブルの接続

1. 拡張タワーと共に出荷された資料の中にある、光ケーブルおよび SPCN ケーブルを探します。この手順を実行するには、3 本の光ケーブルと 2 本の SPCN ケーブルを使用します。
2. システム装置上の使用可能 2688 OLP カード (22ページの図25) を見付けます。
3. OLP カードの光コネクタから終端プラグを取り外します。
4. 光ケーブルの両端にラベルを付けます (21ページの図23)。

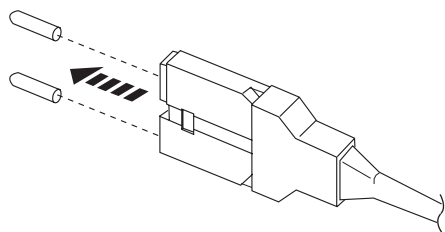


RV2D094-0

図 23. 光ケーブルのラベルの付け方

考慮事項: ケーブル・コネクタを設置する際は、ハウジングを損傷したり、光ファイバー・ケーブルの終端に傷を付けないよう、特に注意してください。

5. 1 本目の光ケーブルからダスト・カバーを取り外します。



RV2D880-0

図 24. 光プラグ・ダスト・カバーの取り外し

注: ご使用のシステム装置が AS/400e システム 620 またはサーバー 720 である場合、光ケーブルは次のラベルが付いた光ケーブル・コネクタに接続します。

| | |
|--------|--------|
| BUS 06 | BUS 05 |
| BUS 04 | BUS 03 |

この次に使用可能なコネクタの組み合わせを使用するようにしてください。

6. 光ケーブルの一方の端を、システム装置の 2688 OLP カードの上部の光コネクタに接続します (620 および 720 の場合は BUS 06 または BUS 04)。

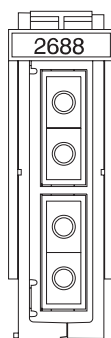


図 25. 2688 OLP カード

7. 装置 5066-002 で、**0** および **1** というラベルの付いた光コネクタを見付けます。
8. **0** および **1** というラベルの付いた光コネクタから終端プラグを取り外します。
9. 5066-002 で、光ケーブルのもう一方の端を、**0** というラベルの付いた光コネクタに設置します。
10. 2 本目の光ケーブルからダスト・カバーを取り外します。
11. 装置 5066-002 で、2 本目の光ケーブルの一方の端を **1** というラベルの付いた光コネクタに設置します。
12. 5066-001 で、光ケーブルのもう一方の端を、**0** というラベルの付いた光コネクタに設置します。
13. 3 本目の光ケーブルからダスト・カバーを取り外します。
14. 5066-001 で、光ケーブルの一方の端を、**1** というラベルの付いた光コネクタに設置します。
15. 光ケーブルのもう一方の端を、システム装置の 2688 OLP カードの下部の光コネクタに設置します (620 および 720 の場合は BUS 05 または BUS 03)。
16. システム装置で、SPCN ケーブルの一方の端を使用可能 SPCN コネクタに設置します。SPCN コネクタには J15 または J16 というラベルが付いています。
17. つまみねじを締めます。
18. 装置 5066-002 で、SPCN ケーブルのもう一方の端を、J15 というラベルの付いた SPCN コネクタに接続します。
19. つまみねじを締めます。
20. 装置 5066-002 で、別の SPCN ケーブルを、J16 というラベルの付いた SPCN コネクタに接続します。
21. つまみねじを締めます。
22. 装置 5066-001 で、2 本目の SPCN ケーブルのもう一方の端を、J15 というラベルの付いた SPCN コネクタに接続します。
23. つまみねじを締めます。
24. 5066 で、電源ケーブルを各電源コネクタに接続します。
25. 23ページの『第4章 設置の完了』へ進んでください。

第4章 設置の完了

設置を完了するため、以下の手順を行います。

1. 次のシステム構成要素のカバーが、すべて取り付けられていることを確認してください。
 - a. AS/400 システム装置
 - b. すべてのシステム拡張装置

危険

誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

2. 次のシステム構成要素の電源コードを、コンセントに差し込んでください。
 - a. AS/400 システム装置

注: 5066 をセットアップしている場合に、電源コードの長さが 2 種類あるときは、長い方の電源コードを上部の装置に設置してください。

 - b. システムに接続されたすべての拡張装置
 - c. システム装置コンソール
 - d. システム・プリンター
3. 次のシステム構成要素のそれぞれを、関連する電源オン・ボタンを使用して電源をオンにします。
 - a. システム・プリンター (ある場合)。
 - b. システム制御コンソール。
 - c. システムが通常モード (図26) であることを確認します。

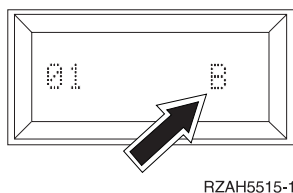


図 26. 通常モード

- d. 白い「電源」押しボタンを押し、AS/400 システム装置に電源を入れます。

注: IPL が完了するまでにかかる時間は、AS/400 のモデルおよび構成によって変わってきます。

- e. システム装置にサインオンします。必ず保守ツール権限があるようにしてください。

第5章 新しい構成の検証

以下を行って、新しい構成を検証します。

- __ 1. AS/400 コマンド行で次のように入力します。

STRSST

実行キーを押します。

- __ 2. 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- __ 3. 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、オプション 7(「ハードウェア保守管理機能」)を選択します。

実行キーを押します。

- __ 4. 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム・フレーム・カード...)」オプションを選択します。

実行キーを押します。

新しく拡張タワーがリストに表示されます。表示されない場合は、次のようにして設置されているか検証する必要があります。

- a. 拡張タワーが電源オンされているか確認します。
 - b. 光ケーブルが正しく接続されているか確認します。
 - c. SPCN ケーブルが正しく接続されているか確認します。
- __ 5. 後になって参照できるように、構成リストを印刷して本書にはさんでおきます。構成リストを印刷するには、次のようにします。
- a. 保守権限でサインオンする必要があります。
 - b. 「AS/400 メイン・メニュー」のコマンド行で次のように入力します。

STRSST

実行キーを押します。

- c. SST 画面で、オプション 1 (「サービス・ツールの開始」) を選択します。

実行キーを押します。

- d. 「サービス・ツールの開始」画面で、オプション 7(「ハードウェア保守管理機能」) を選択します。

実行キーを押します。

- e. 「ハードウェア保守管理機能」画面から F6 (構成の印刷) を押します。

重要プロダクト・データの更新

設置が完了したら、ご使用のシステムの重要プロダクト・データ (VPD) を更新する必要があります。まだ「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたままになっているはずですが。この画面が表示されていない場合、上記の 25 ページのステップ 5b ~ 25ページの5d を実行し、次のステップを実行します。

- __ 1. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、オプション 5 (「システム電源制御ネットワーク (SPCN)」) を選択します。
- __ 2. 実行キーを押します。
- __ 3. 25 ページのステップ 5e で印刷した、システム構成リストの中から、ご使用の拡張タワーを見付けます。

注:

- a. 5066 を設置した場合、5066-002 と 5066-001 の両方のフレーム ID と製造番号を見付ける必要があります。
- b. フレーム ID は、拡張タワーの表示内容を見て確認することもできます。たとえば、5066-002 (上部装置) のフレーム ID が 4 の場合、画面に *04 と表示されます。
- __ 4. システム構成リストで、拡張タワーのフレーム ID と製造番号を見付けます。
- __ 5. 「システム電源制御ネットワーク」画面で、その拡張タワーのオプション 3 (「VPD の書出し」) を選択します。実行キーを押します。

例: ご使用の拡張タワーのフレーム ID が 2 の場合、下の例に示すようにオプション 3 を入力します。「装置」フィールドが 0 になっているフレーム ID を使用します。

| システム電源制御ネットワーク (SPCN) | | | | | |
|---|------|----|-----|----------|----|
| バッテリー容量テスト : 活動化 | | | | | |
| オプションを入力して、実行キーを押してください。 | | | | | |
| 3=VPD の書出し 5= 詳細の表示 6= トレース・ログの表示 | | | | | |
| 7= バッテリー・インターフェースのテスト | | | | | |
| OPT | フレーム | 装置 | タイプ | 製造番号 | 障害 |
| | 01 | 0 | | 00-00000 | NO |
| | 01 | 1 | | 00-00000 | NO |
| 3 | 02 | 0 | | 00-00000 | NO |

- __ 6. 「重要なプロダクト・データ (VPD) の書出し」画面に、次の情報を入力します。
 - a. 「タイプ」フィールドに 5065 または 5066 と入力します。
 - b. 「型式」フィールドに 001 と入力します。5066 を使用している場合、5066-001 (下部装置) では 001、5066-002 (上部装置) では 002 と入力します。
 - c. 「製造番号」フィールドに製造番号を入力します。
- __ 7. 実行キーを押します。

- __ 8. 「AS/400 メイン・メニュー」に戻るには、F3 (終了) を 3 回押してから 実行キーを押します。

本書は、後に使用するときのために保管しておいてください。ディスク装置や取り外し可能媒体装置を設置する必要がある場合には、39ページの『付録C. 5065 PCI 拡張タワーまたは 5066 1.8M I/O タワーへのディスク装置の設置』 または 57ページの『付録D. 取り外し可能媒体装置の 5065 PCI 拡張タワーへの設置』を参照してください。

これで、拡張タワーの設置は完了しました。

付録A. AS400e システム 620 または S20 へのケーブルの接続

620 にケーブルを接続する場合、側面カバーを取り外さなければならないことがあります。側面カバーを取り外す必要があるかどうか確認するには、『AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のアクセス・カバーの取り外し』のステップを実行します。

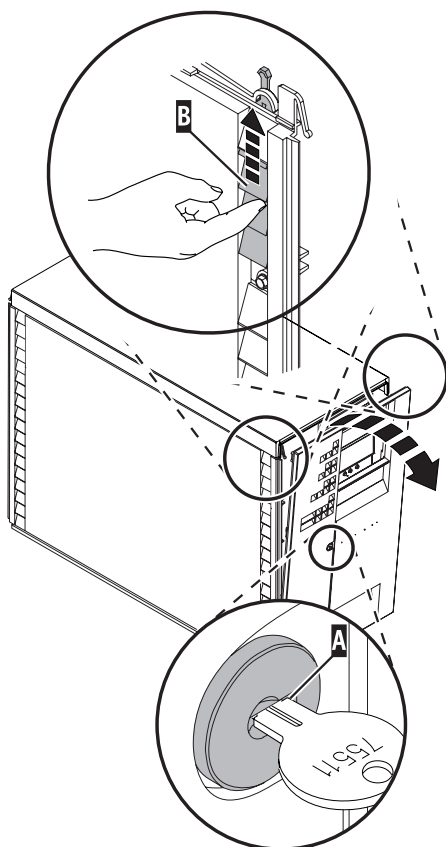
AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のアクセス・カバーの取り外し

- __ 1. 10ページの図10 を参照してシステム装置から背面カバーを取り外します。カバーの上部の角を持って手前に持ち上げるように引きます。
- __ 2. システム装置の背面をよく見てください。システム装置の背面に、光ケーブル接続がありますか？

いいえ はい

↓ 側面カバーを取り外す必要はありません。10ページの『AS/400 システム装置にケーブルを接続する』に進み、11 ページのステップ 2 の手順を開始します。

- __ 3. システム装置の前面カバー (30ページの図27) を次のようにして取り外します。
 - a. 前面カバーがロックされている場合は、**A** で示すようにロック解除します。
 - b. **B** の両方の側面カバーのラッチ (ルーバー) をずらして上げ、前面カバーのラッチを外します。
 - c. 前面カバーの上部の角を持ちます。
 - d. カバーを持ち上げて外します。



RV4U126-1

図 27. システム装置の前面カバーの取り外し

4. システム装置の上部カバー (31ページの図28) を次のようにして取り外します。
- a. システム装置の背面にある、**A** の上部カバー・ロックを探します。
 - b. ねじを緩め、**A** の上部カバー・ロックを邪魔にならない向きに回します。
 - c. カバー (31ページの図29) をシステム装置の前面の方へずらします。
 - d. カバーを持ち上げて外します。

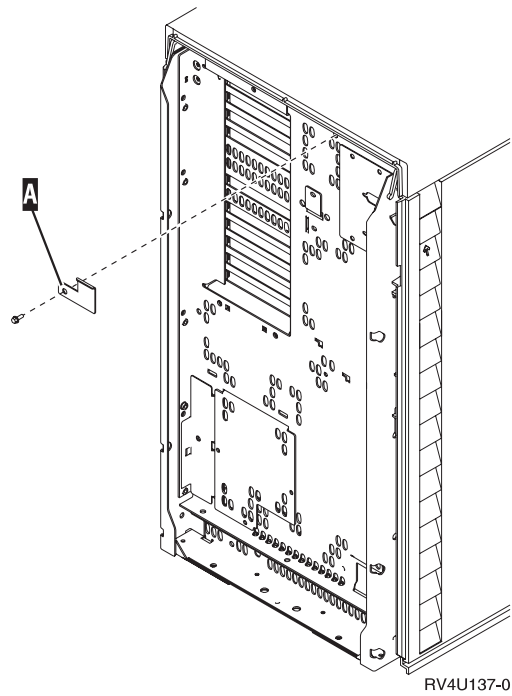


図 28. 上部カバー・ロックの取り外し

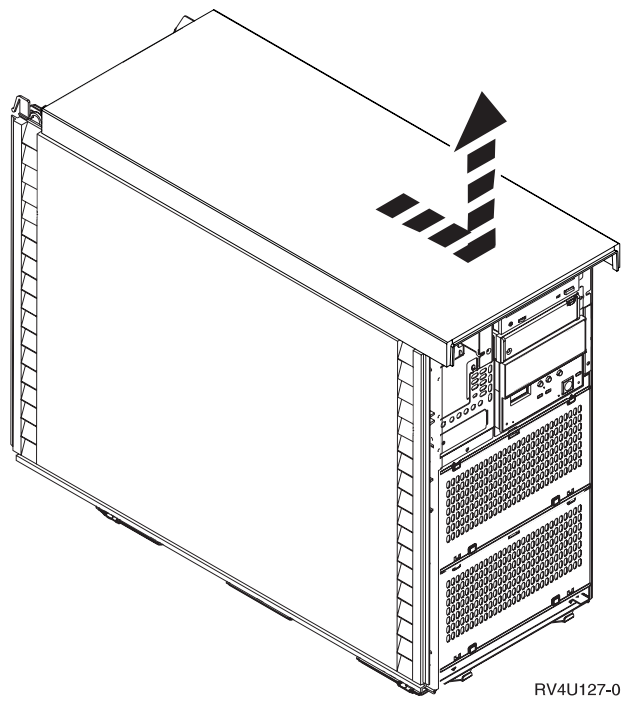
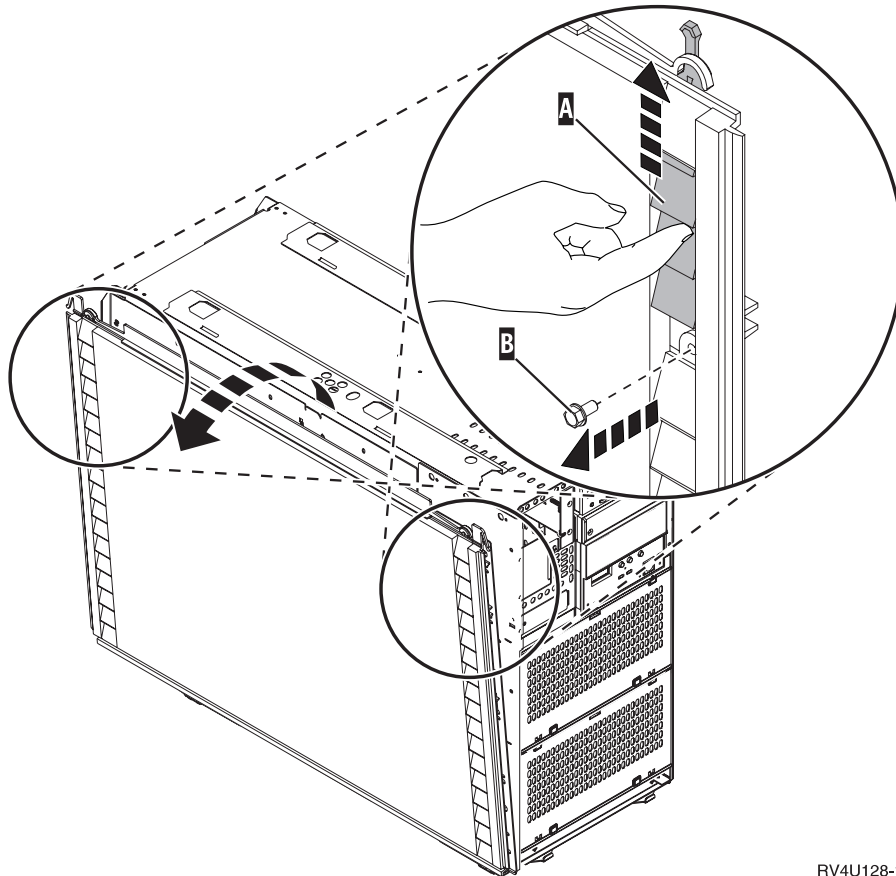


図 29. 上部カバーの取り外し

- 5. システム装置の側面カバー (32ページの図30) を次のようにして取り外します。
- a. **A** のカバー・ラッチを上へずらし、ルーバーを開けてカバーの両側にあるねじが見えるようにします。

- b. ねじは、取り外した時にシステム装置の上に置かないようにしてください。
- c. 2つのねじ（**B**）を取り外します。カバーが倒れないように、手で押さえてください。
- d. カバーを持ち上げて外します。



RV4U128-1

図 30. システム装置の側面カバーの取り外し

— 6.

⚠ 注意

バッテリーはリチウム電池です。このバッテリーの交換は、訓練を受けたサービス技術員のみが、問題判別、修理、および保守マニュアルの指示に従って行ってください。爆発の危険を防止するために、バッテリーを焼却または充電してはなりません。IBM 指定の部品とだけ交換してください。バッテリーを廃棄するときには、関連法規を順守してください。 (RSFTC241)

システム装置にはバッテリーが入っています。

アクセス・カバー (33ページの図31) を次のようにして取り外します。

- a. アクセス・カバー上の、**A** および **B** というラベルが付いた、上部に溝のあるねじをすべて取り外します。ねじを取り外す時は次のようにします。

- 外したねじはひとまとめにしておいてください (たとえば、小さな容器にまとめて入れておきます)。
- ねじをどこから外したか、確認してください。

こうしておくことにより、ねじをはめ直すのが容易になります。

- b. カバーを持って手前に引き、持ち上げて外します。

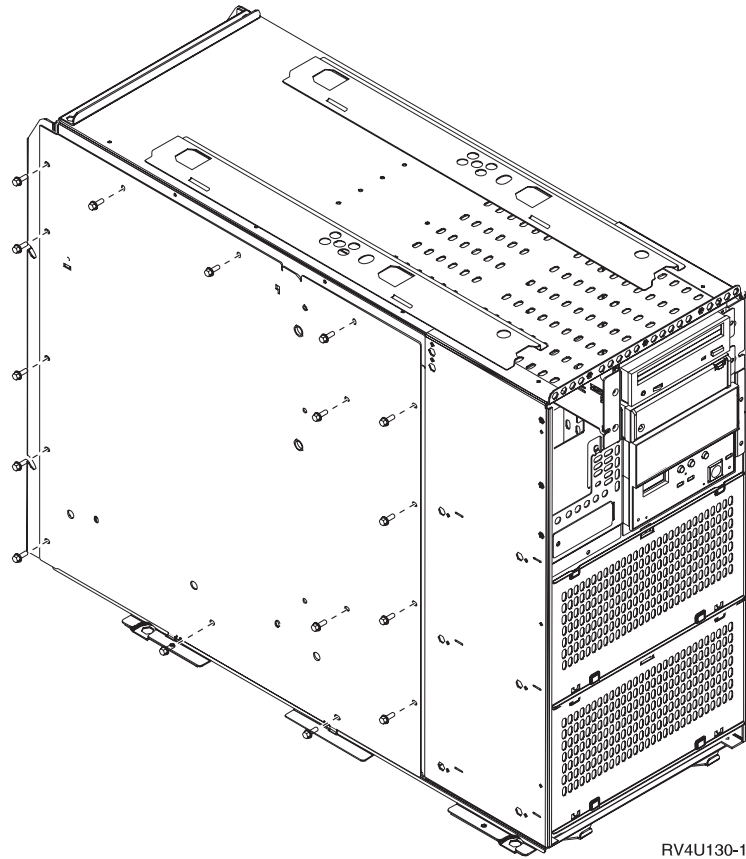


図 31. システム装置のアクセス・カバーの取り外し

SPCN ケーブルおよび光ケーブルの AS/400e システム 620 またはサーバ S20 への接続

SPCN ケーブルおよび光ケーブルをシステム装置に接続するには、次のようにします。

1. SPCN ケーブルをシステム装置の SPCN コネクターに差し込みます。
2. つまみねじを締めます。

34ページの図32 を参照して光ケーブルを設置します。

1. システム装置の中の光カード・コネクターを探します。
2. システム装置の背面で、2 つのねじを緩めてカバーを開けます。
3. 光ケーブルを、システム装置の背面から光コネクターへと通します。
4. 2 つの保護プラグを 2688 OLP カードから取り外します。

- __ 5. **0** というラベルを付けた光ケーブルを、左側の OLP 光ケーブル・コネクタに押し込みます。
- __ 6. **1** というラベルを付けた光ケーブルを、右側の OLP 光ケーブル・コネクタに押し込みます。
- __ 7. 『AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のカバーをもとに戻す』へ進んでください。

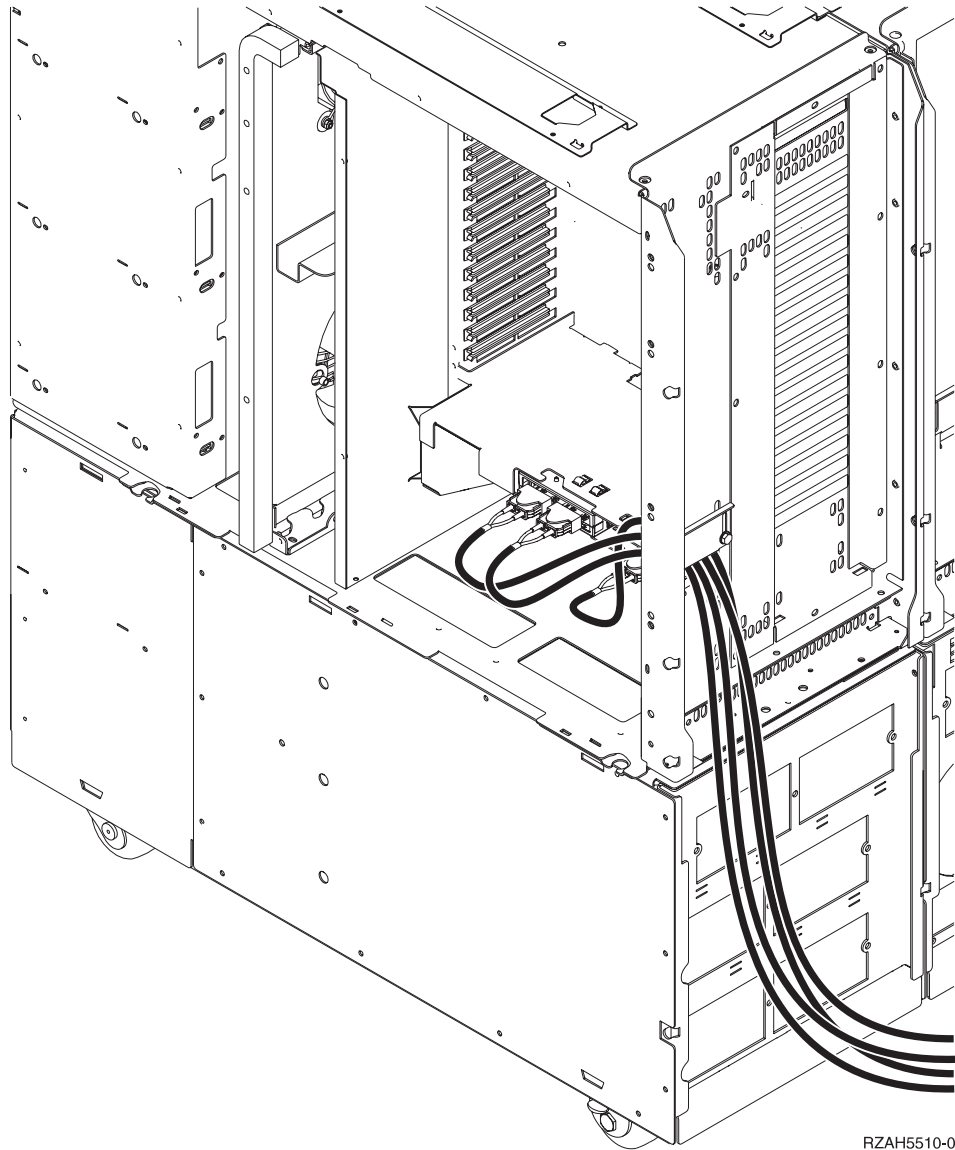


図 32. システム 620 またはサーバー S20 での光ケーブルの設置

AS/400e システム 620 またはサーバー S20 のカバーをもとに戻す

- __ 1. アクセス・カバーをはめ、上部に溝のあるねじをしっかりと締めます。
- __ 2. システム装置の側面カバーを次のようにして設置します。
 - a. 側面カバーをはめます。カバーが倒れないように、手で押さえてください。

- b. 2つのねじをしっかりと締めます。
- c. カバー・ラッチをずらして、ルーバーを閉じます。
- __ 3. 上部のカバーを、システムの後方へ向けてずらしてはめます。
- __ 4. ねじをしっかりと締め、上部カバー・ロックを回します。
- __ 5. 背面カバーの上部の角を持ってはめます。
- __ 6. AS/400 の前面カバーを次のようにしてはめます。
 - a. カバーをはめます。
 - b. 側面カバーのラッチ (ルーバー) をずらし、前面カバーをラッチで固定します。
 - c. 前面カバーをロックします。
- __ 7. システム装置の背面カバーを次のようにしてはめます。
 - __ a. カバーの上部の角を持ちます。
 - __ b. ピンとスロットの位置を合わせます。
 - __ c. カバーを押し下げます。

付録B. 他の拡張装置との間で可能な構成

ご使用の 5065 または 5066 1.8M I/O タワーは、次の拡張装置と互換性があります。

- 5044 拡張装置
- 5072 拡張装置
- 5073 拡張装置
- 5082 記憶域拡張機構
- 5083 記憶域拡張機構

使用できる拡張装置の数および組み合わせは、他の拡張装置のタイプと、使用するサーバーによって決まります。また 5044 拡張ラックがあるかどうかによって、決まります。使用する拡張装置が 5066 の場合、2 台の 5065 として数えます。

AS/400e サーバー S20

AS/400e サーバー S20 は、下記にリストした拡張装置のどの組み合わせでもサポートします。合計で 4 台の拡張装置が使用できます。

- 5065
- 5072
- 5073
- 5082

AS/400e システム 620 およびサーバー 720

表 2. サーバー 620 および 720 の場合の可能な構成

| 許される 5044 の数 | 許される 5065、5072、5073、5082、または 5083 の数 |
|--------------|--------------------------------------|
| 2 | 0 |
| 1 | 2 |
| 0 | 4 |

AS/400e サーバー S30 および S40

AS/400e サーバー S30 および S40 は、下記にリストした拡張装置のどの組み合わせでもサポートします。合計で 18 台の拡張装置が使用できます。

- 5065
- 5072
- 5073
- 5082

AS400e サーバー 640、650、730、および 740

表 3. サーバー 640、650、730、および 740 で可能な構成

| 許される 5044 の数 | 許される 5065、5072、5073、5082、または 5083 の数 |
|--------------|--------------------------------------|
| 9 | 0 |
| 8 | 2 |
| 7 | 4 |
| 6 | 6 |
| 5 | 8 |
| 4 | 10 |
| 3 | 12 |
| 2 | 14 |
| 1 | 16 |
| 0 | 18 |

付録C. 5065 PCI 拡張タワーまたは 5066 1.8M I/O タワーへの ディスク装置の設置

新しいディスク装置を 5065 または 5066 1.8M I/O タワーにユーザー自身で設置することができます。ハードウェアの設置にかかる時間は約 1 時間です。

ディスク装置の設置を自分では行わないことも可能です。IBM または IBM 特約店に連絡して、ディスク装置機構の設置の手配をしてください。

ユーザーのジョブを完了させ、システムのバックアップを取り、システムを IPL し、ハードウェア構成を検証するため、相当する時間の余裕を見ておいてください。

本章の説明により、以下を行うこととなります。

- 拡張タワーの前面カバーを取り外します。
- 1 つまたは複数の新しいディスク装置を設置します。
- カバーをはめます。
- オペレーティング・システムを IPL します。
- 新しいハードウェア構成を検証します。

注: 5066 1.8M I/O タワーは 2 つの独立した 5065 PCI 拡張タワーで構成されています。5066 への各拡張タワーの設置手順は同じです。

開始する前に次のことを行ってください。

- ご使用のオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新のバックアップがあるか確認してください。直近の PTF を適用した時以降に行ったバックアップであれば、それを使用できます。
- 本章の説明全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- 正しくない部品が入っていたり、部品が欠落していたり、明らかに損傷のある部品があったりした場合は、IBM 営業担当員または IBM 特約店に連絡してください。

– 担当の IBM 特約店

新しいディスク装置の最適化

ディスク装置を設置する場合は、ディスク制御装置上のディスク装置に均等に処理を分散させることにより、最高のパフォーマンスが得られるよう最適化を行う必要があります。

注: 機構 4331 1.65 GB 読み取りキャッシュ (固体素子ディスク装置) を設置しようとしている場合は、ディスク装置の筐体の位置 1 にのみ、設置することができます。これらの機構は、ディスク装置制御装置が 3 台ある場合であれば、拡張タワー内に 3 つ設置することができます。

前面カバーの内側のラベルを参照し、ディスク装置を次の順序で設置してください。

1. まず、1 台目の高速ディスク装置制御装置が制御するすべてのディスク装置位置から埋めていきます。
 - a. スロット **1** を埋めます: D31、D36、D46
 - b. スロット **2** を埋めます: D32、D37、D47
 - c. スロット **3** を埋めます: D33、D38、D48
 - d. スロット **4** を埋めます: D34、D39、D49
 - e. スロット **5** を埋めます: D35、D40、D50
2. 以下の位置にディスク装置を設置するには、拡張タワーに 2 つ目の高速ディスク装置制御装置が必要となります。ご使用の拡張タワーに 2 つ目の高速ディスク装置制御装置 (IOA カード 2) がない場合は、IBM または IBM 特約店に連絡してください。

次に、スロットを以下の順序で埋めていきます (IOA カード 2)。

 - a. スロット **1** を埋めます: D01、D11、D21
 - b. スロット **2** を埋めます: D02、D12、D22
 - c. スロット **3** を埋めます: D03、D13、D23
 - d. スロット **4** を埋めます: D04、D14、D24
 - e. スロット **5** を埋めます: D05、D15、D25
3. 以下の位置にディスク装置を設置するには、拡張タワーに 3 つ目の高速ディスク装置制御装置が必要となります。ご使用の拡張タワーに 3 つ目の高速ディスク装置制御装置 (IOA カード 3) がない場合は、IBM または IBM 特約店に連絡してください。

最後に、スロットを以下の順序で埋めていきます (IOA カード 3)。

 - a. スロット **1** を埋めます: D06、D16、D26
 - b. スロット **2** を埋めます: D07、D17、D27
 - c. スロット **3** を埋めます: D08、D18、D28
 - d. スロット **4** を埋めます: D09、D19、D29
 - e. スロット **5** を埋めます: D10、D20、D30

ディスク装置の設置

ディスク装置を設置するには、次の手順に従ってください。設置中に問題が生じた場合は、IBM 特約店またはサービス提供者に連絡してください。

- __ 1. 主システム装置の電源はオフになっていますか？

いいえ はい

↓ 50ページの4へ進んでください。

- __ 2. 41ページの図33 (5065) または 42ページの図34 (5066) を参照し、**A** のラッチを使って前面カバーを開けてください。
- __ 3. 必要であれば **B** で示すラッチを外して前面カバーを取ります。

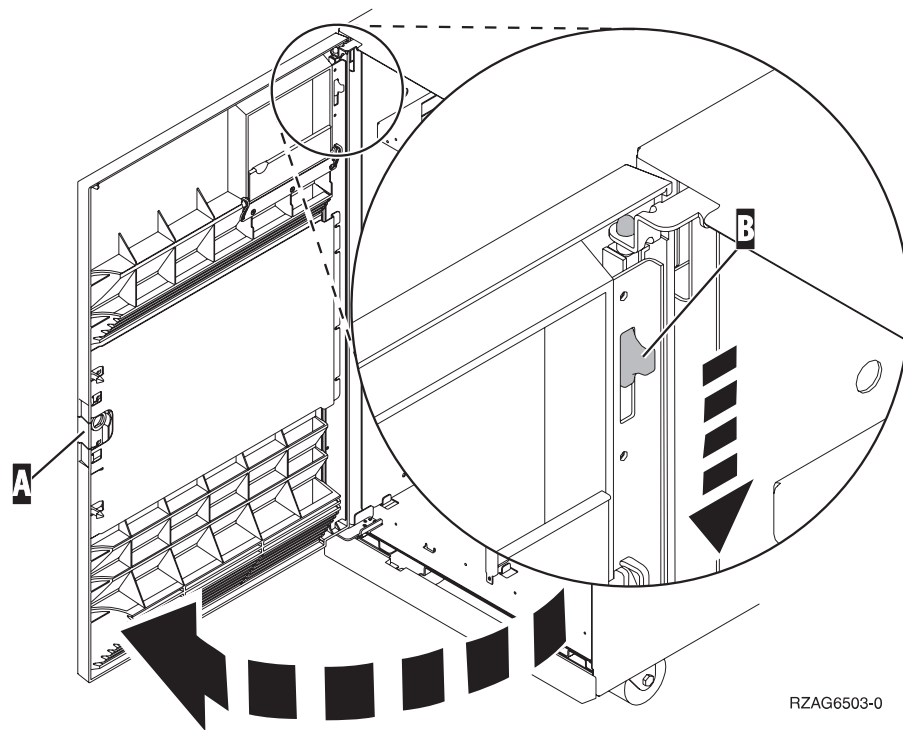
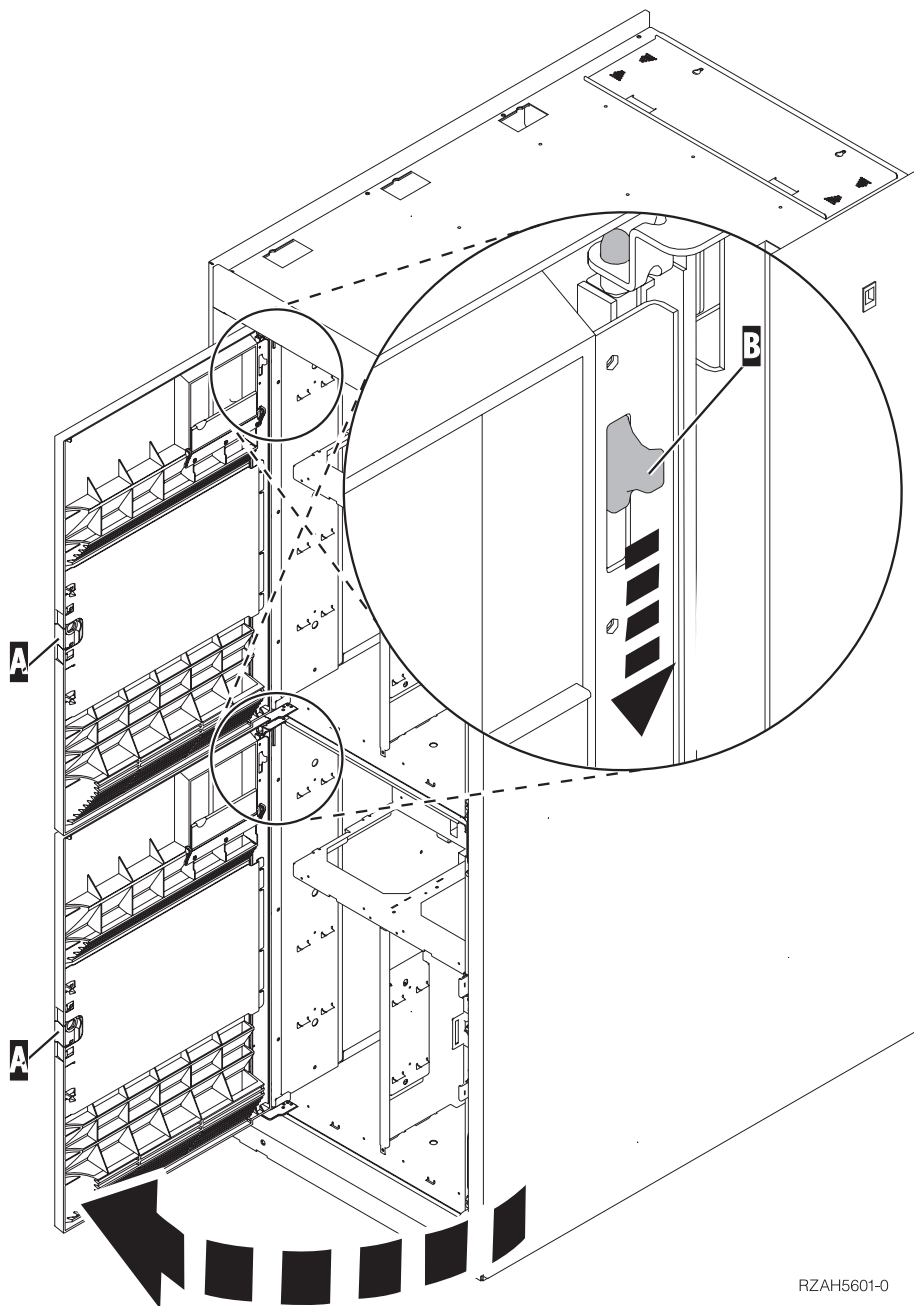


図 33. 前面カバーの扉の開き方 (5065)



RZAH5601-0

図 34. 前面カバーの扉の開き方 (5066)

- 4. 静電気の放電による装置の損傷を防ぐため、使い捨てリスト・バンドを着用します。

注:

- a. 2209 使い捨てリスト・バンドは、あくまで静電気対策のためのものです。このバンドを付けても、電気機器を扱う際に感電事故の危険性が、増すわけでもなくまた少なくなるわけでもありません。リスト・バンドを付けない場合と同様に、用心を怠らないでください。

- b. 使い捨てリスト・バンドが損傷したり切れたりした場合は、そのリスト・バンドはただちに破棄し、担当の特約店に連絡して代替を入手してください。新しいリスト・バンドを入手するまでは、設置は中止してください。
 - c. リスト・バンドを広げる時は、終端部の銅フォイルから裏打ちを取り除きます。
 - d. 銅フォイルを、拡張タワーのフレームの露出された未塗装の金属面 (アース)に接続します。
- __ 5. 『並行手順 (システム装置が電源オンである場合)』を読み、作業を開始する前に必ず並行手順について理解しておいてください。並行手順を使用するのが不安な場合は、50ページの『非並行手順 (システム装置が電源オフである場合)』へ進んでください。

並行手順 (システム装置が電源オンである場合)

並行導入を行う前に、設置しようとしているディスク装置の直接選択アドレスをまず決める必要があります。『直接選択アドレスの検索』をお読みください。直接選択アドレスについて理解したら、45ページの『並行導入の実行』に進み導入を完了します。

直接選択アドレスの検索

この手順に従って、新しくディスク装置を設置しようとしている位置に対するアドレスを検索します。

- __ 1. 新しいディスク装置のロケーションを、前面カバーの内側のラベルで参照してください (39ページの『新しいディスク装置の最適化』の指示どおり)。
- __ 2. 表4を見て、新しいディスク装置のロケーションに対する直接選択アドレスを探してください。

表4. ディスク装置の直接選択アドレス

| ロケーション | 直接選択アドレス |
|--------|----------------|
| D01 | 0X20 0003 00FF |
| D02 | 0X20 0004 00FF |
| D03 | 0X20 0005 00FF |
| D04 | 0X20 0006 00FF |
| D05 | 0X20 0007 00FF |
| D06 | 0X30 0003 00FF |
| D07 | 0X30 0004 00FF |
| D08 | 0X30 0005 00FF |
| D09 | 0X30 0006 00FF |
| D10 | 0X30 0007 00FF |
| D11 | 0X20 0103 00FF |
| D12 | 0X20 0104 00FF |
| D13 | 0X20 0105 00FF |
| D14 | 0X20 0106 00FF |
| D15 | 0X20 0107 00FF |
| D16 | 0X30 0103 00FF |

表4. ディスク装置の直接選択アドレス (続き)

| ロケーション | 直接選択アドレス |
|--------|----------------|
| D17 | 0X30 0104 00FF |
| D18 | 0X30 0105 00FF |
| D19 | 0X30 0106 00FF |
| D20 | 0X30 0107 00FF |
| D21 | 0X20 0203 00FF |
| D22 | 0X20 0204 00FF |
| D23 | 0X20 0205 00FF |
| D24 | 0X20 0206 00FF |
| D25 | 0X20 0207 00FF |
| D26 | 0X30 0203 00FF |
| D27 | 0X30 0204 00FF |
| D28 | 0X30 0205 00FF |
| D29 | 0X30 0206 00FF |
| D30 | 0X30 0207 00FF |
| D31 | 0X10 0001 00FF |
| D32 | 0X10 0002 00FF |
| D33 | 0X10 0003 00FF |
| D34 | 0X10 0004 00FF |
| D35 | 0X10 0005 00FF |
| D36 | 0X10 0103 00FF |
| D37 | 0X10 0104 00FF |
| D38 | 0X10 0105 00FF |
| D39 | 0X10 0106 00FF |
| D40 | 0X10 0107 00FF |
| D46 | 0X10 0203 00FF |
| D47 | 0X10 0204 00FF |
| D48 | 0X10 0205 00FF |
| D49 | 0X10 0206 00FF |
| D50 | 0X10 0207 00FF |

— 3. X (BUS) に入る値を決めるには、次のようにします。

a. システム構成リストをまだ印刷していない場合は印刷します。

1) AS/400 コマンド行で次のように入力します。

STRSST

実行キーを押します。

2) 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。

実行キーを押します。

3) 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- 4) 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム・フレーム・カード...)」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- 5) 「ハードウェア資源パッケージの除去の確認」が表示されたら、**F6** を押して構成リストを印刷します。

- 6) **F3 (終了)** を 2 回押してから実行キーを押し、「メイン・メニュー」に戻ります。

b. システム構成リストで、拡張タワーを見付けます。

c. 拡張タワーを見付けたら論理アドレス・フィールドを見ます。このフィールドの 2 桁目が X の値になります。

__ 4. 構成リストは本書にはさんでおきます。

例: 次に示すのは、ロケーション D02 に対する直接選択アドレスの探し方の例です。ロケーション D02 の場合の直接選択アドレスは 0X20 0004 00FF です。X の値は、以下に示す例のように、システム構成リストの論理アドレス・フィールドの中にあります。

論理アドレス

1/4/ /- / / / / /

論理アドレス・フィールドの中の 2 桁目は 4 です。したがって、この例におけるロケーション D02 の直接選択アドレスは 0420 0004 00FF となります。

__ 5. 39ページの『新しいディスク装置の最適化』 の手順をもう一度見て、ディスク装置用に使用できる次のスロットを探します。

__ 6. 並行導入手順において使用する、取り外し可能媒体装置の直接選択アドレスを記録します。

並行導入の実行

直接選択アドレスが判明したら、次の手順を実行して、並行してディスク装置を導入します。

__ 1. 46ページの図35を参照し、ディスク装置の筐体のシールドを取り外します。

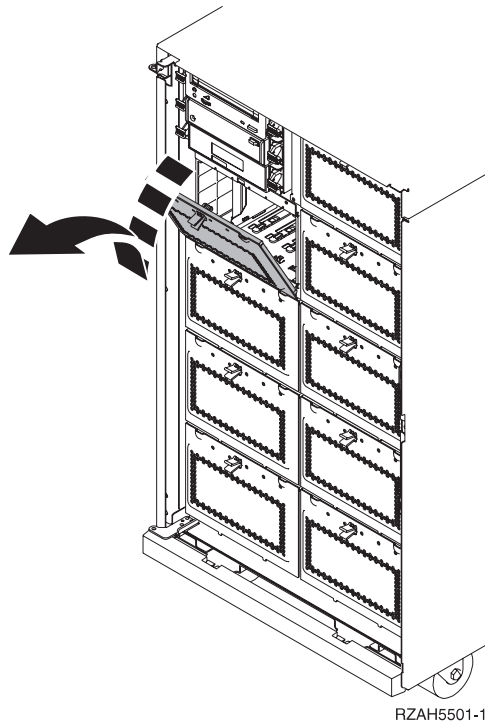


図 35. ディスク装置の筐体のシールドの取り外し

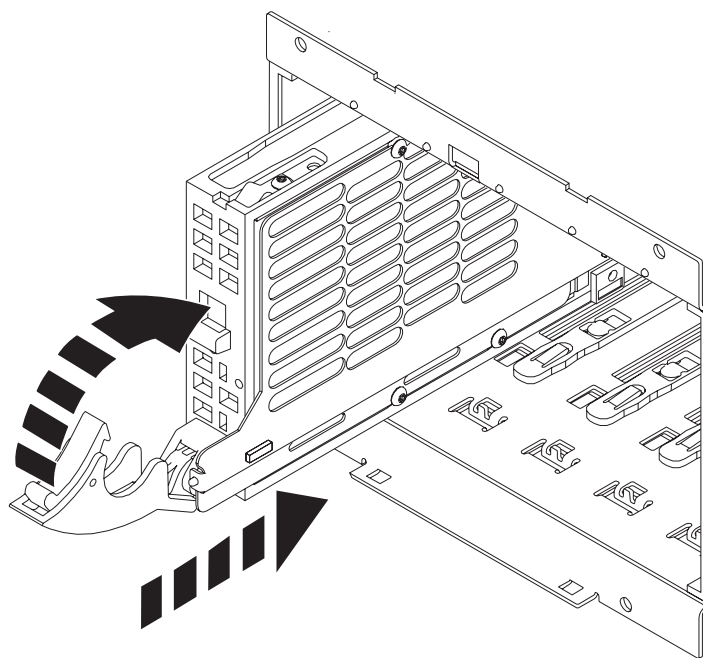
- 2. 新しいディスク装置を設置しようとしている位置の、長いプラスチックのコネクター・カバーを取り外します。
- 3. **考慮事項:** この説明通りに行わないと、新しいディスク装置やシステム装置を損傷したり、データが消失したりする可能性があります。
QSECOFR でサインオンします。
- 4. 「AS/400 メイン・メニュー」のコマンド行で次のように入力します。
STRSST

実行キーを押します。
- 5. 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。実行キーを押します。
- 6. 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。実行キーを押します。
- 7. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、「装置並行保守」オプションを選択します。
- 8. 新しいディスク装置を設置しようとしている位置の直接選択アドレスを、入力します。
- 9. オプション 2 を選択します (装置の導入処理を実行します)。
- 10. 1 分間の遅延時間を設定します。
01
- 11. **考慮事項:** ディスク装置は壊れやすいので、丁寧に取り扱ってください。
用意されているリスト・バンドを必ず使用してください。 リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、他方の端をシステム装置に接続します。

- __ 12. 新しいディスク装置アセンブリーが入っているパッケージを探し、静電気防止パッケージから取り出します。ディスク装置の製造番号 (SN xx-xxxxxxx) を、設置する前にここ _____ に記入しておきます。
- __ 13. 青いハンドルを上げた状態でディスク装置を持ちます。
- __ 14. ディスク装置を拡張タワーに設置する前に、青いハンドルをできるだけ手前に引き出すようにしてロック解除します。
- __ 15. 図36を参照し、既存の装置の次の使用可能な位置に、新しいディスク装置アセンブリーの下部を支えながら半分まで挿入します。半分以上は押し込まないようにしてください。

注: ディスク装置の上にあるライトをよく見ていてください。ライトがオンになり、速く明滅しはじめてから、9 秒間以内にディスク装置を設置する必要があります。

- __ 16. コンソールで実行キーを押します。
- __ 17. 図36を参照し、ライトが明滅を始めたら、ディスク装置を奥まで挿入してラッチを閉じ、正しい位置にロックします。



RZAH5511-0

図36. ディスク装置の設置

- __ 18. ディスク装置が正しく設置できると、緑のライトが明滅しなくなりオンのままになります。
- __ 19. コンソールの所に戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるのを待ちます。
実行キーを押します。
- __ 20. 設置したいディスク装置がまだありますか?

いいえ はい

↓ 46ページの5 から 19 までの手順を繰り返します。

- __ 21. 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、F12 を押します。
- __ 22. 「システム・サービス・ツール」メニューで、「ディスク装置の処理」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 23. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 24. 「ディスク構成の表示」画面で、「非構成装置の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 25. 画面に、設置したディスク装置がリストされるはずですが、製造番号が 47 ページの 12 で控えた製造番号と一致しているはずですが。

注: 画面にディスク装置がリストされない場合は、ディスク装置が正しく設置されているかどうか確認してください。45 ページの 1 から 47 ページの 19 までの手順を繰り返します。

- __ 26. F12 を 2 回押します。
- __ 27. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の処理」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 28. ディスク装置を既存の装置パリティ・セットに追加しますか? 装置パリティについて詳細な情報が必要な場合は、AS/400e バックアップおよび回復の手引き、SD88-5008-04 に進んでください。

はい いいえ

↓ 49 ページの 45 へ進んでください。

- __ 29. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。
- __ 30. 「装置パリティ保護の組み込みが失敗」画面が表示されましたか ?

はい いいえ

↓ 49 ページの 33 へ進んでください。

- __ 31. 装置パリティ保護を開始するには、以下の条件を満たしている必要があります。ディスク装置の装置パリティ保護への組み込みは、1 つまたは複数の理由によって失敗する場合があります。
- 新たなパリティ・セットを作成するのに十分なディスク装置がある場合は、それらの装置には「装置パリティ保護の開始」操作の方がふさわしいでしょう。「装置パリティ保護への組み込み」は適切ではありません。詳しくは、AS/400e バックアップおよび回復の手引き、SD88-5008-04 へ進んでください。
 - パリティ・セット内のディスク装置の容量はすべて同じでなければならず、パリティ・セットには最小で 4 台、最大で 10 台のディスク装置が必要です。
 - 拡張機能入力プロセッサに接続されているディスク装置の中に、システムに対して報告されていないものがあります。操作を再試行してください。
 - ディスク装置のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしません。

- __ 32. 上記の条件に合致している場合は、F12 を選択して「ディスク構成の処理」画面に戻ります。
- __ 33. 「装置パリティ保護への装置の組み込み」画面で、オプション欄に **1** と入力することにより、装置パリティ保護に組み込むディスク装置を選択します。
実行キーを押します。
- __ 34. 選択した内容を確認するために実行キーを押します。
- __ 35. 装置パリティ保護が完了すると、『選択された装置は正常に組み込まれました』というメッセージが「ディスク構成の処理」画面に表示されます。
- __ 36. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
- __ 37. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。
- __ 38. ディスク装置をどの補助記憶域プール (ASP) に追加するかを決定します。
- __ 39. F12 を 2 回押します。
- __ 40. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加およびデータのバランス」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 41. 「装置を追加する ASP の指定」画面で ASP を指定します。
実行キーを押します。
- __ 42. 確認のために実行キーを押します。
- __ 43. メッセージ『選択された装置が正常に追加されました』が表示されたら、AS/400 メイン・メニューに戻ります。
- __ 44. 48へ進んでください。
- __ 45. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 46. ディスク装置を追加したい ASP の番号を指定します。システム ASP は **ASP 1** になります。
実行キーを押します。
- __ 47. 「装置追加の確認」画面が表示され、追加が完了した時点でのシステムの構成を示します。

注: ASP を誤って指定してしまった場合は、F12 を押してオプションを変更します。

実行キーを押して続行します。追加の処理には、完了までに数分を要する場合があります。

- __ 48. ディスク装置のシールド・カバーをはめます。
- __ 49. システム装置の前面カバーをはめます。
- __ 50. 印刷装置がある場合には構成リストを印刷します。サービス技術員が後日この構成リストを参照する場合があります。
 - a. 「AS/400 メイン・メニュー」のコマンド行で次のように入力します。

注: 保守権限でサインオンしてあることが必要です。

STRSST

実行キーを押します。

- b. SST 画面で、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- c. 「サービス・ツールの開始」画面で、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- d. 「ハードウェア保守管理機能」画面から F6 (構成の印刷) を押します。
- e. F3 (終了) を 2 回押してから実行キーを押し、「AS/400 メイン・メニュー」に戻ります。
- f. 構成リストは AS/400e システム操作、管理および問題処理の手引き、SD88-5007-04 という資料にはさんでおきます。

- __ 51. ディスク装置を作動可能にする方法についての詳細は、AS/400 Information Center へ進んでください。Information Center には、AS/400 Information Center CD, SK88-8040-02 から、または以下の Web サイトからアクセスできます。

<http://www.as400.ibm.com/infocenter>

- __ 52. 折り返しコネクタなどの各種部品は保守部品の箱ないしは他の安全な場所に保管してください。

ディスク装置の設置は完了しました。

非並行手順 (システム装置が電源オフである場合)

- __ 1. ユーザーのシステム装置で論理区画を設置している場合は、AS/400 Information Center を参照してください。AS/400 Information Center で、論理区画を持つシステムの電源遮断についての説明を検索することができます。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了していたら、AS/400 コマンド行に次のように入力します。

```
pwrdownsys *immed
```

実行キーを押します。
- __ 4. システム装置が完全に電源遮断されたら、システム装置に接続されているすべてのパーソナル・コンピューター (PC) および装置類 (印刷装置や表示装置など) を電源オフします。
- __ 5. すべての電源コード (印刷装置や表示装置など) をコンセントから抜きます。
- __ 6. システム装置の電源コードをコンセントから抜きます。
- __ 7. 41ページの図33を参照し、**A** のラッチを使って前面カバーを開けてください。
- __ 8. 必要であれば **B** で示すラッチを外して前面カバーを取ります。
- __ 9. 静電気の放電による装置の損傷を防ぐため、使い捨てリスト・バンドを着用します。

注:

- a. リスト・バンドを付けない場合と同様に、用心を怠らないでください。2209 使い捨てリスト・バンドは、あくまで静電気対策のためのものです。このバンドを付けても、電気機器を扱う際に感電事故の危険性が、増すわけでもなくまた少なくなるわけでもありません。
- b. 使い捨てリスト・バンドが損傷した場合は、そのリスト・バンドはただちに破棄し、担当の特約店に連絡して代替を入手してください。新しいリスト・バンドを入手するまでは、設置は中止してください。
- c. リスト・バンドを広げる時は、終端部の銅フォイルから裏打ちを取り除きます。
- d. 銅フォイルを、拡張タワーのフレームの露出された未塗装の金属面 (アース) に接続します。

- __ 10. **考慮事項:** ディスク装置は壊れやすいので、丁寧に取り扱いってください。
用意されているリスト・バンドを必ず使用してください。リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、他方の端は必ず拡張タワーに接続してください。
- __ 11. 39ページの『新しいディスク装置の最適化』 の手順をもう一度見て、ディスク装置用に使用できる次の位置を探します。
- __ 12. 新しいディスク装置アセンブリーが入っているパッケージを探し、静電気防止パッケージから取り出します。
- __ 13. ディスク装置の製造番号 (SN xx-xxxxxxx) を、設置する前にここに記入しておきます。
- __ 14. 図37を参照し、ディスク装置の筐体のシールドを取り外します。

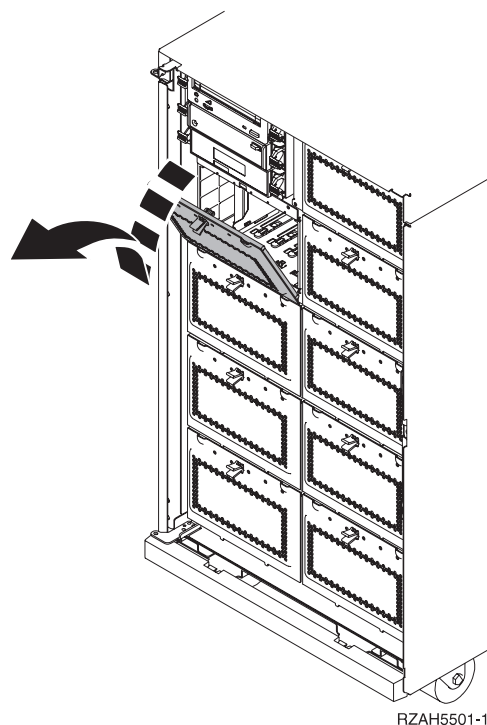


図 37. ディスク装置の筐体のシールドの取り外し

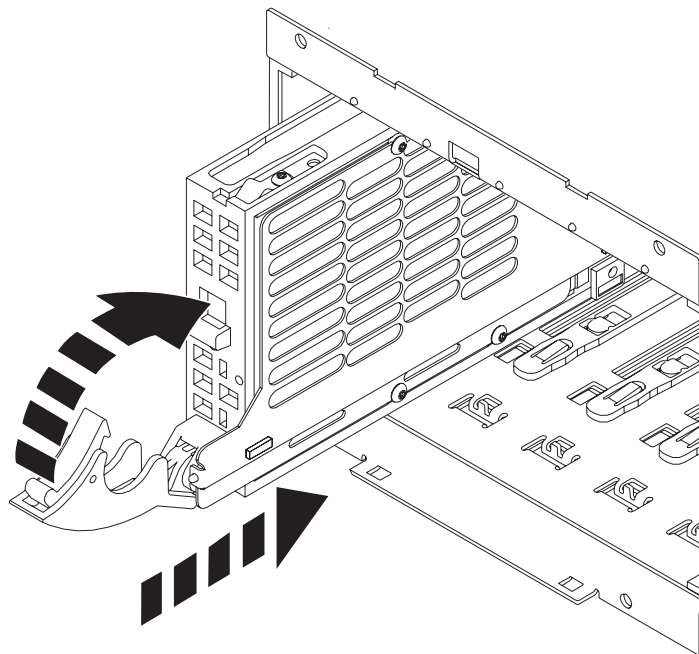
- __ 15. 新しいディスク装置を設置しようとしている位置の、長いプラスチックのコネクター・カバーを取り外します。
- __ 16. **考慮事項:** この説明通りに行わないと、新しいディスク装置や拡張タワーを損傷したり、データが消失したりする可能性があります。

QSECOFR でサインオンします。

- __ 17. ディスク装置を拡張タワーに設置する前に、青いハンドルを手前に引き出すようにしてロック解除します。

注: ディスク装置を拡張タワーに設置できるように支えてください。ディスク装置の青いハンドルをつかんで持たないでください。

- __ 18. 図38 を参照し、ディスク装置を拡張タワーに止まるところまで挿入してください。
- __ 19. ディスク装置のハンドルを正しい位置にロックされるまで持ち上げてください。



RZAH5511-0

図38. ディスク装置の設置

- __ 20. 設置したいディスク機構がまだありますか？

いいえ はい

↓ 51ページの12 から 19 までの手順を繰り返します。

- __ 21. 他に設置する装置がありますか？

いいえ はい

↓ 磁気テープ装置や CD-ROM 駆動機構などの他の装置を設置したい場合は、それらの装置と同梱されている説明に進んでください。

- __ 22. ディスク装置の筐体のシールドをはめます。
- __ 23. 拡張タワーの前面カバーをはめます。

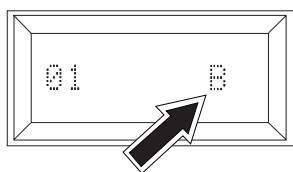
⚠ 危険

誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

以下の電源コードを電源コンセントに差し込んでください。

- システム装置
- システムのコンソール

- __ 25. 接続されているすべての装置 (印刷装置、表示装置など) のプラグを差し込み、電源オンします。
- __ 26. 制御パネルの「機能/データ」表示パネルを見ます。「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されましたか？



RZAH5515-1

はい いいえ

↓ 以下を行ってください。

- 「機能/データ」表示パネルに **02** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
 - 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - 「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
 - 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
 - 「機能/データ」表示パネルに **01** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
 - 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ 27. IPL モードが手動モードになっていることを確認します。なっていない場合は、「手動」が活動状態モードになったことをライトが示すまで、モード・ボタンを押します。
- __ 28. システム装置コンソールになっているワークステーションまたは PC (パーソナル・コンピュータ) を電源オンします。
- __ 29. AS/400 サーバーを電源オンするために「電源」押しボタンを押します。
- __ 30. ディスク装置構成を検証するために、次のようにします。
- 「IPL またはシステムの導入」メニューが表示されたら、「専用保守ツールの使用」オプションを選択します。
実行キーを押します。

- b. 「専用保守ツール (DST) サイン・オン」画面で、DST ユーザー ID およびパスワードを入力します。

注: 省略時の DST パスワードは、変更されていない限り **2222222222** です。

実行キーを押します。

- c. 「専用保守ツールの使用」メニューが表示されたら、「ディスク装置の処理」を選択します。

実行キーを押します。

- d. 「ディスク装置の処理」画面が表示されたら、「ディスク構成の処理」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- e. 「ディスク構成の処理」メニューが表示されたら、「ディスク構成の表示」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- f. 「ディスク構成の表示」メニューが表示されたら、「非構成装置の表示」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- g. 設置したディスク装置がリストに表示されるはずですが、製造番号が 51 ページの13 で控えた製造番号と一致しているはずですが。

注: リストにディスク装置が表示されない場合は、ディスク装置が正しく設置されているかどうか確認してください。

- h. 「ディスク装置の処理」メニューに戻ります (F12 を 3 回押します)。

- __ 31. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の処理」を選択します。

実行キーを押します。

- __ 32. ディスク装置を既存の装置パリティ・セットに追加しますか? 装置パリティについて詳細な情報が必要な場合は、AS/400e バックアップおよび回復の手引き, SD88-5008-04 に進んでください。

はい いいえ

↓ 55ページの50へ進んでください。

- __ 33. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護の処理」を選択します。

- __ 34. 「装置パリティ保護の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組込み」を選択します。

- __ 35. 「装置パリティ保護の組込みが失敗」画面が表示されましたか?

はい いいえ

↓ 55ページの38へ進んでください。

- __ 36. 装置パリティ保護を開始するには、以下の条件を満たしている必要があります。ディスク装置の装置パリティ保護への組み込みは、1 つまたは複数の理由によって失敗する場合があります。

- 新たなパリティ・セットを作成するのに十分なディスク装置がある場合は、それらの装置には「装置パリティ保護の開始」操作の方がふさわし

いでしょう。その様なディスク装置の場合、「装置パリティ保護への組み込み」操作は適切ではありません。詳しくは、AS/400e バックアップおよび回復の手引き, SD88-5008-04へ進んでください。

- パリティ・セット内のディスク装置の容量はすべて同じでなければならず、パリティ・セットには最小で 4 台、最大で 10 台のディスク装置が必要です。
 - 拡張機能入出力プロセッサに接続されているディスク装置の中に、システムに対して報告されていないものがあります。操作を再試行してください。
 - ディスク装置のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしません。
- __ 37. 上記の条件に合致している場合は、F12 を選択して 「ディスク構成の処理」画面に戻ります。
- __ 38. 「ディスク装置の装置パリティ保護への装置の組み込み」画面で、オプション 欄に 1 と入力することにより、装置パリティ保護に組み込むディスク装置を選択します。
実行キーを押します。
- __ 39. 選択した内容を確認するために実行キーを押します。
- __ 40. 装置パリティ保護が完了すると、『選択された装置が正常に組み込まれました』というメッセージが「装置パリティ保護の処理」画面に表示されず。
F12 を押します。
- __ 41. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 42. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。
- __ 43. ディスク装置をどの補助記憶域プール (ASP) に追加するかを決定します。
- __ 44. F12 を 2 回押します。
- __ 45. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加およびデータのバランス」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 46. 「装置を追加する ASP の指定」画面で ASP を指定します。
実行キーを押します。
- __ 47. 確認のために実行キーを押します。
- __ 48. メッセージ『選択された装置が正常に追加されました』が表示されたら、「AS/400 メイン・メニュー」に戻ります。
- __ 49. 56ページの53へ進んでください。
- __ 50. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
実行キーを押します。
- __ 51. ディスク装置を追加したい ASP の番号を指定します。システム ASP は **ASP 1** になります。
実行キーを押します。

- __ 52. 「装置追加の確認」画面が表示され、追加が完了した時点でのシステムの構成を示します。

注: ASP を誤って指定してしまった場合は、F12 を押してオプションを変更します。

実行キーを押して続行します。追加の処理には、完了までに数分を要する場合があります。

- __ 53. ディスク装置のシールド・カバーをはめます。
- __ 54. システム装置の前面カバーをはめます。
- __ 55. F12 を 3 回押して、「専用保守ツール (DST) の使用」画面に戻ります。
- __ 56. 「IPL の実行」 オプションを選択します。
実行キーを押します。
- __ 57. 印刷装置がある場合には構成リストを印刷します。サービス技術員が後日この構成リストを参照する場合があります。
- a. 「AS/400 メイン・メニュー」のコマンド行で次のように入力します。

注: 保守権限でサインオンしてあることが必要です。

STRSST

実行キーを押します。

- b. SST 画面で、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- c. 「サービス・ツールの開始」メニューで、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。
実行キーを押します。
- d. 「ハードウェア保守管理機能」画面から F6 (構成の印刷) を押します。
- e. F3 (終了) を 2 回押してから実行キーを押し、「AS/400 メイン・メニュー」に戻ります。
- f. 構成リストは AS/400e システム操作、管理および問題処理の手引き、SD88-5007-04 という資料にはさんでおきます。
- __ 58. ディスク装置を作動可能にする方法についての詳細は、AS/400 Information Center へ進んでください。Information Center には、AS/400 Information Center CD, SK88-8040-02 から、または以下の Web サイトからアクセスできます。

<http://www.as400.ibm.com/infocenter>

- __ 59. 折り返しコネクタなどの各種部品は保守部品の箱ないしは他の安全な場所に保管してください。

ディスク装置の設置は完了しました。

付録D. 取り外し可能媒体装置の 5065 PCI 拡張タワーへの設置

取り外し可能媒体装置機構を 5065 または 5066 1.8M I/O タワーにユーザーが自分で設置することができます。ハードウェアの設置にかかる時間は約 1 時間です。しかし、機構の設置をユーザー自身で行わない場合は、IBM または IBM 特約店に連絡して設置の手配をしてください。

ユーザーのジョブを完了させ、システムのバックアップを取り、システムを IPL し、ハードウェア構成を検証するため、相当する時間の余裕を見ておいてください。

本章の説明により、以下を行うことになります。

- 拡張タワーの前面カバーを取り外します。
- 新しいハードウェアを設置します。
- カバーをはめます。
- オペレーティング・システムを IPL します。
- 新しいハードウェア構成を検証します。

注: 5066 1.8M I/O タワーは 2 つの独立した 5065 PCI 拡張タワーで構成されています。5066 への各拡張タワーの設置手順は同じです。

開始する前に次のことを行ってください。

- ご使用のオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムの最新のバックアップがあるか確認してください。直近の PTF を適用した時以降に行ったバックアップであれば、それを使用できます。
- 本章の説明全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- 正しくない部品が入っていたり、部品が欠落していたり、明らかに損傷のある部品があったりした場合は、IBM 営業担当員または IBM 特約店に連絡してください。

– 担当の IBM 特約店

表 5. 設置可能な取り外し可能媒体装置構成

| 取り外し可能媒体装置 | 可能な設置構成 (5066 の場合は 2 倍します) |
|----------------------|-------------------------------|
| CD-ROM 駆動機構 (4425) | 1 台の 5065 につき 1 つ |
| 4 GB 磁気テープ装置 (4482) | 2 台まで |
| 12 GB 磁気テープ装置 (4483) | 2 台まで |
| 25 GB 磁気テープ装置 (4486) | 2 台まで |

取り外し可能媒体装置の設置

この手順では、取り外し可能媒体装置を拡張タワーに設置するために必要な、予備的なステップについて示します。取り外し可能媒体装置を並行導入するか、それとも電源遮断して導入するか、ユーザーが決める際の一助となるはずですが、並行導入をしている間は、拡張タワーを電源遮断することはできません。

設置中に問題が生じた場合は、IBM 特約店またはサービス提供者に連絡してください。

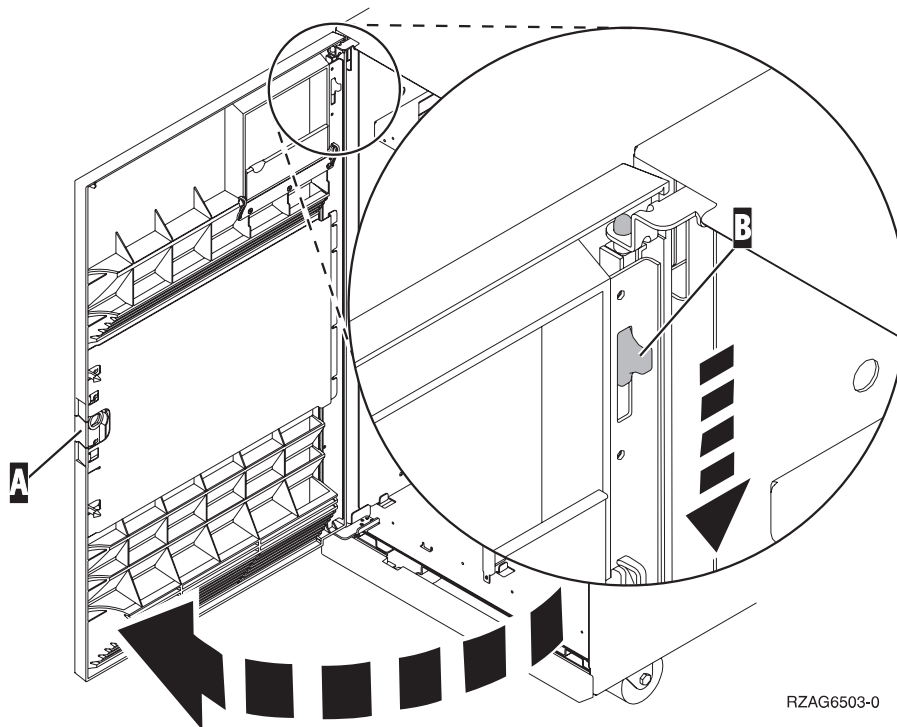
— 1. 主システム装置の電源はオフになっていますか？

いいえ はい

↓ 63ページの4へ進んでください。

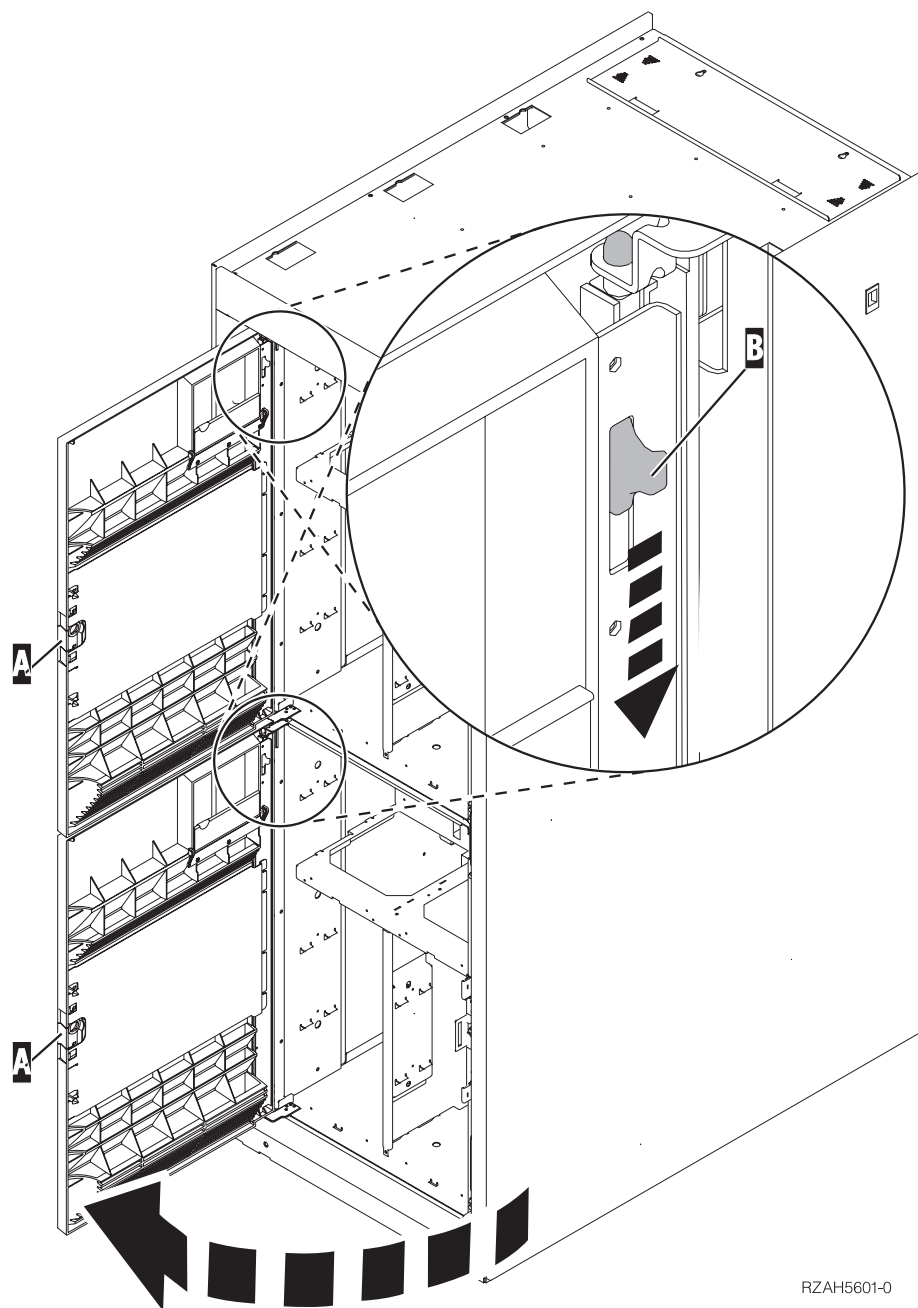
— 2. 図39 (5065) または 59ページの図40 (5066) を参照し、**A** のラッチを使って前面カバーを開けてください。

— 3. 必要であれば **B** で示すラッチを外して前面カバーを取ります。



RZAG6503-0

図39. 前面カバーの扉の開き方



RZAH5601-0

図 40. 前面カバーの扉の開き方 (5066)

- 4. 静電気の放電による装置の損傷を防ぐため、使い捨てリスト・バンドを着用します。

注:

- a. 2209 使い捨てリスト・バンドは、あくまで静電気対策のためのものです。このバンドを付けても、電気機器を扱う際に感電事故の危険性が、増すわけでもなくまた少なくなるわけでもありません。リスト・バンドを付けない場合と同様に、用心を怠らないでください。

- b. 使い捨てリスト・バンドが損傷した場合は、そのリスト・バンドはただちに破棄し、担当の特約店に連絡して代替を入手してください。新しいリスト・バンドを入手するまでは、設置は中止してください。
 - c. リスト・バンドを広げる時は、終端部の銅フォイルから裏打ちを取り除きます。
 - d. 銅フォイルを、5065 拡張タワーのフレームの露出された未塗装の金属面 (アース)に接続します。
- __ 5. 『並行手順 (システム装置が電源オンである場合)』を読み、設置を開始する前にこの複雑な手順を必ず理解しておいてください。並行手順を使用するのが不安な場合は、63ページの『非並行手順 (システム装置が電源オフである場合)』へ進んでください。

並行手順 (システム装置が電源オンである場合)

並行導入を行う前に、設置しようとしている取り外し可能媒体装置の直接選択アドレスをまず調べる必要があります。『直接選択アドレスの検索』を読み、直接選択アドレスの調べ方を理解してください。直接選択アドレスについて理解したら、61ページの『並行導入の実行』に進み導入を完了します。

直接選択アドレスの検索

この手順に従って、新しい取り外し可能媒体装置のアドレスを検索します。

- __ 1. 新しい取り外し可能媒体装置のロケーションを、前面カバーの内側のラベルで参照してください。
- __ 2. 表6を見て、新しい取り外し可能媒体装置のロケーションに対する直接選択アドレスを探してください。

表6. 取り外し可能媒体の直接選択アドレス

| ロケーション | 直接選択アドレス/装置アドレス |
|--------|-----------------|
| D41 | 0X10 0007 00FF |
| D42 | 0X10 0006 00FF |

- __ 3. 直接選択アドレスの中の X の値は、それぞれのシステムごとに異なります。X に入る値を決めるには、次のようにします。
 - a. システム構成リストをまだ印刷していない場合は印刷します。
 - 1) AS/400 コマンド行で次のように入力します。
STRSST

実行キーを押します。
 - 2) 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - 3) 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。
実行キーを押します。
 - 4) 「ハードウェア保守管理機能」メニューが表示されたら、「パッケージ・ハードウェア資源 (システム・フレーム・カード...)」オプションを選択します。

実行キーを押します。

- 5) 「ハードウェア資源パッケージ除去の確認」が表示されたら、**F6** を押して構成リストを印刷します。構成リストは本書にはさんでおきます。
 - 6) **F3 (終了)** を 2 回押してから実行キーを押し、「メイン・メニュー」に戻ります。
- b. システム構成リストで、拡張タワーを見付けます。
 - c. 拡張タワーを見付けたら論理アドレス・フィールドを見ます。このフィールドの 2 桁目が X の値になります。

例: 次に示すのは、ロケーション D41 に対する直接選択アドレスの探し方の例です。ロケーション D41 の場合の直接選択アドレスは、43ページの表4より 0X10 0007 00FF であることがわかります。X の値は、以下に示す例のように、システム構成リストの論理アドレス・フィールドの中にあります。

論理アドレス
1/4/ /- / / / / /

論理アドレス・フィールドの中の 2 桁目は 4 です。したがって、この例におけるロケーション D02 の直接選択アドレスは 0410 0007 00FF となります。

- ___ 4. 並行導入手順において使用する、ディスク装置の直接選択アドレスを記録します。

並行導入の実行

並行導入を行うには、以下の手順に従います。

考慮事項: この説明通りに行わないと、新しい取り外し可能媒体装置やシステム装置を損傷したり、データが消失したりする可能性があります。

- ___ 1. まだ **QSECOFR** でサインオンしていない場合は、**QSECOFR** でサインオンします。
- ___ 2. AS/400 コマンド行で次のように入力します。
STRSST

実行キーを押します。
- ___ 3. 「システム・サービス・ツール」メニューが表示されたら、「サービス・ツールの開始」オプションを選択します。実行キーを押します。
- ___ 4. 「サービス・ツールの開始」メニューが表示されたら、「ハードウェア保守管理機能」オプションを選択します。実行キーを押します。
- ___ 5. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、「装置並行保守」オプションを選択します。
- ___ 6. 取り外し可能媒体装置は、設置可能な 3 つの位置のいずれか 1 つに設置することができます。新しい取り外し可能媒体装置を設置しようとしている位置に対する直接選択アドレスは、前面カバーの内側のラベルを参照してください。
- ___ 7. 新しい取り外し可能媒体装置を設置しようとしている位置の直接選択アドレスを入力します。
- ___ 8. 取り外し可能媒体の充てんベゼルを引き抜きます。
- ___ 9. 長いプラスチックのコネクター・カバーを取り外します。

- __ 10. **考慮事項:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、丁寧に取り扱いってください。

用意されているリスト・バンドを必ず使用してください。リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、他方の端を拡張タワーに接続します。

- __ 11. 新しい取り外し可能媒体アセンブリーが入っているパッケージを探し、静電気防止パッケージから取り出します。
- __ 12. 青いボタンが、テープ装置の場合は右上に、CD の場合は右下になるようにして、装置を持ちます。

注: 取り外し可能媒体装置を拡張タワーに設置できるように、下部を支えてください。取り外し可能媒体装置の青いハンドルをつかんで持たないでください。

- __ 13. 拡張タワーに設置する前に、青いハンドルを手前に引き出します。
- __ 14. 63ページの図41を参照し、既存の装置の次の使用可能な位置に、新しい取り外し可能媒体装置アセンブリーの下部を支えながら半分まで挿入します。半分以上は押し込まないようにしてください。
- __ 15. オプション 2 を選択します (装置の導入処理を実行します)。
- __ 16. 1 分間の遅延時間を設定します。

01

実行キーを押します。

注: 取り外し可能媒体装置の右側にあるライトをよく見ていてください。ライトがオンになり、速く明滅しはじめたら、9 秒間以内に取り外し可能媒体装置を正しい位置に設置する必要があります。

- __ 17. ライトが明滅を始めたら、取り外し可能媒体装置を正しく収まる所まで挿入します。両方の青いハンドルを同時に押して、取り外し可能媒体装置を正しい位置にロックします。

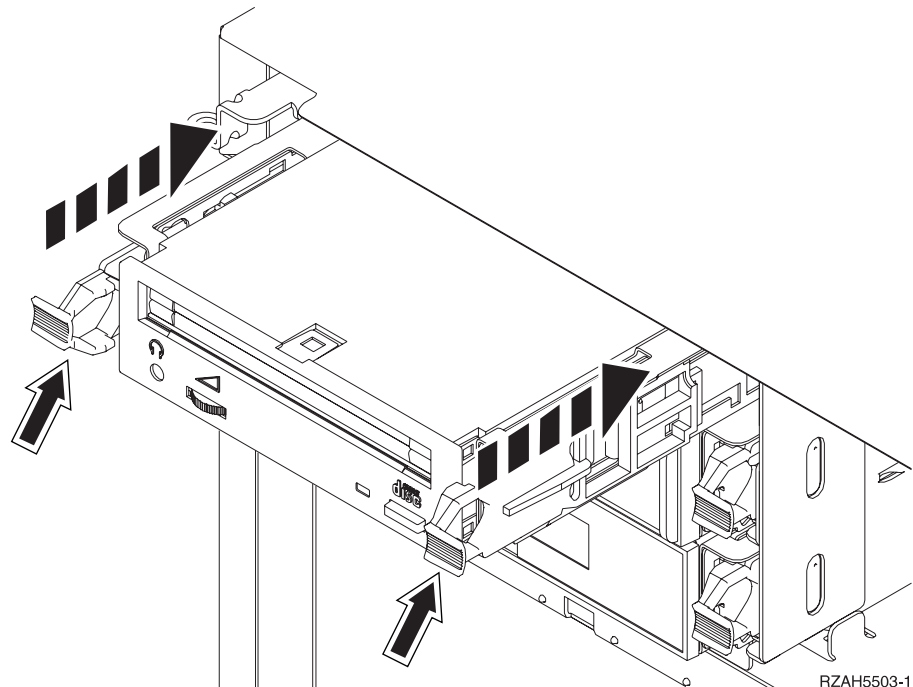


図 41. 取り外し可能媒体の設置

- __ 18. 取り外し可能媒体装置が正しく設置されると、緑のライトが明滅しなくなりオンのままになります。
- __ 19. コンソールの所に戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるのを待ちます。
実行キーを押します。
- __ 20. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、印刷装置がある場合は F6 を押して構成リストを印刷します。ユーザー自身またはサービス技術員が、後日この構成リストを参照する場合があります。
- __ 21. 拡張タワーの前面カバーをはめます。
- __ 22. F12 を 2 回押し、実行キーを押して「AS/400 メイン・メニュー」に戻ります。

取り外し可能媒体装置の設置は完了しました。

非並行手順 (システム装置が電源オフである場合)

- __ 1. ユーザーのシステム装置で論理区画を設置している場合は、AS/400 Information Center を参照してください。AS/400 Information Center で、論理区画を持つシステムの電源遮断についての説明を検索することができます。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了していたら、AS/400 コマンド行に次のように入力して実行キーを押します。

```
pwrdownsys *immed
```
- __ 4. システム装置が完全に電源遮断されたら、システム装置に接続されているすべてのパーソナル・コンピューター (PC) および装置類 (印刷装置や表示装置など) を電源オフします。

- 5. すべての電源コード（印刷装置や表示装置など）をコンセントから抜きます。
- 6. 拡張タワーの電源コードをコンセントから抜きます。
- 7. 図42を参照し、**A** のラッチを使って前面カバーを開けてください。
- 8. 必要であれば **B** で示すラッチを外して前面カバーを取ります。

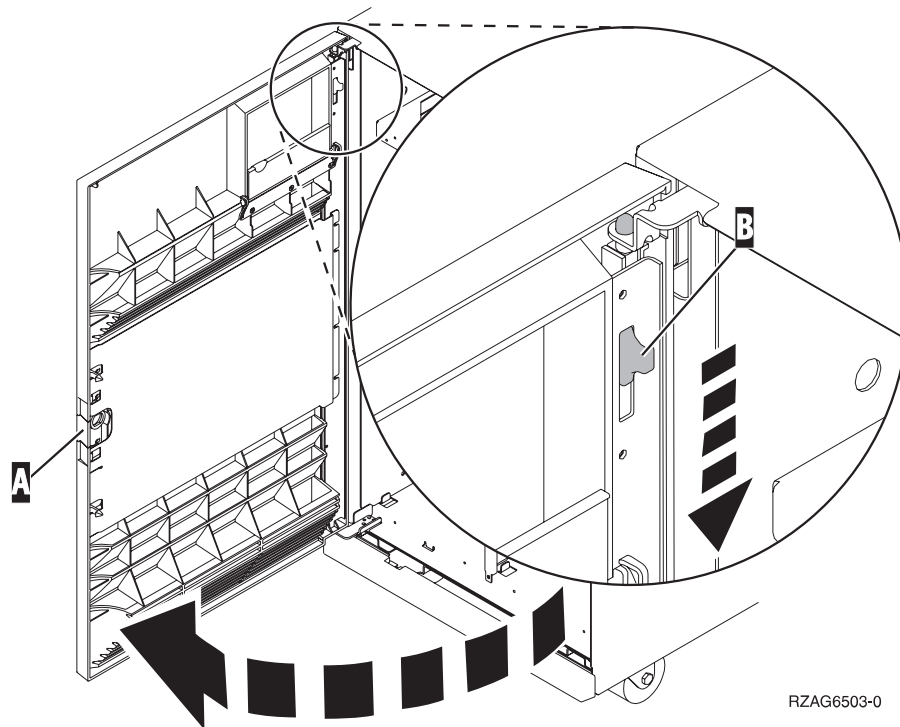


図42. 前面カバーの扉の開き方

- 9. 静電気の放電による装置の損傷を防ぐため、使い捨てリスト・バンドを着用します。

注:

- a. 2209 使い捨てリスト・バンドは、あくまで静電気対策のためのものです。このバンドを付けても、電気機器を扱う際に感電事故の危険性が、増すわけでもなくまた少なくなるわけでもありません。リスト・バンドを付けない場合と同様に、用心を怠らないでください。
 - b. 使い捨てリスト・バンドが損傷した場合は、そのリスト・バンドはただちに破棄し、担当の特約店に連絡して代替を入手してください。新しいリスト・バンドを入手するまでは、設置は中止してください。
 - c. リスト・バンドを広げる時は、終端部の銅フォイルから裏打ちを取り除きます。
 - d. 銅フォイルを、5065 拡張タワーのフレームの露出された未塗装の金属面（アース）に接続します。
- 10. **考慮事項:** 取り外し可能媒体装置は壊れやすいので、丁寧に取り扱いください。

用意されているリスト・バンドを必ず使用してください。リスト・バンドの一方の端を手首に巻き付け、他方の端をシステム装置に接続します。

- __ 11. 取り外し可能媒体の充てんベゼルを引き抜きます。
- __ 12. 長いプラスチックのコネクター・カバーを取り外します。
- __ 13. 新しい取り外し可能媒体装置アセンブリーが入っているパッケージを探し、静電気防止パッケージから取り出します。
- __ 14. 取り外し可能媒体装置をまっすぐに持ち、両側にある青いハンドを手前に引きます。
- __ 15. 図43を参照し、取り外し可能媒体装置アセンブリーを、既存の装置の次に使用可能なスロットに位置合わせします。

注: 正しい位置に挿入できるように、取り外し可能媒体装置アセンブリーの下部を支えてください。取り外し可能媒体装置の青いハンドルをつかんで持たないでください。

- __ 16. 取り外し可能媒体装置を拡張タワーに、止まるところまで挿入してください。
- __ 17. 両方の青いハンドルを同時に押して、取り外し可能媒体装置を正しい位置にロックします。

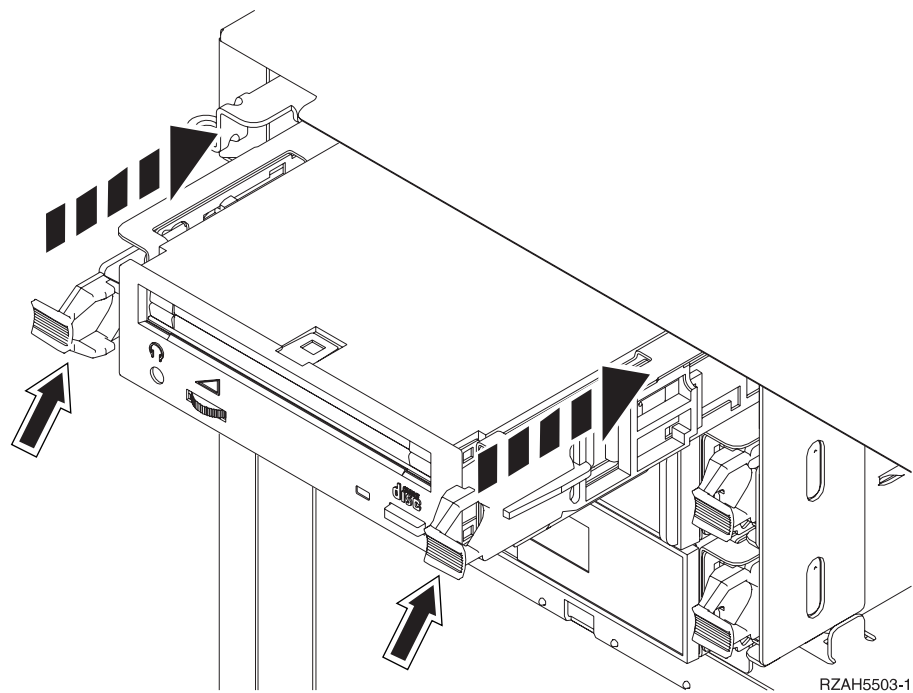


図 43. 取り外し可能媒体の設置

- __ 18. 他に設置する装置がありますか？

いいえ はい

↓

テープ装置や CD-ROM 駆動機構など他の装置を設置したい場合は、それらの装置と同梱されている説明を参照してください。

__ 19. 拡張タワーの前面カバーをはめます。

⚠ 危険

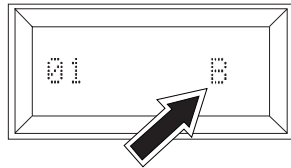
誤配線のある電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に危険な電圧を誘起させる原因になります。感電事故防止のため、電源コンセントの正しい配線とコンセントの接地端子を正しく接地する工事はユーザーの責任で行っていただきます。(RSFTD201)

__ 20. 以下の電源コードを電源コンセントに差し込んでください。

- 拡張タワー
- システム装置コンソール

__ 21. 接続されているすべての装置 (印刷装置、表示装置など) のプラグを差し込み、電源オンします。

__ 22. システム装置の制御パネルの「機能/データ」表示パネルを見ます。「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されましたか？



RZAH5515-1

はい いいえ

↓ 以下を行ってください。

- 「機能/データ」表示パネルに **02** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
- 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- 「機能/データ」表示パネルに **B** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
- 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- 「機能/データ」表示パネルに **01** が表示されるまで、上または下の「選択」押しボタンを押します。
- 制御パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- IPL モードは「通常」になっていますか？

はい いいえ

↓ 処理モードが「通常」であることを LIT (ロード初期テーブル) モード・ライトが示すまで、モード・ボタンを押します。67ページの24へ進んでください。

h. 67ページの24へ進んでください。

__ 23. IPL モードが通常モードになっていることを確認します。なっていない場合は、処理モードが「通常」であることを LIT (ロード初期テーブル) モード・ライトが示すまで、モード・ボタンを押します。

- __ 24. システム・コンソールになっているワークステーションまたは PC (パーソナル・コンピュータ) を電源オンします。
- __ 25. AS/400 システム装置を電源オンするために「電源」押しボタンを押します。
- __ 26. AS/400 システム装置にサインオンします。必ず保守ツール権限があるようにしてください。
- __ 27. 取り外し可能媒体装置構成を検証するために、次のようにします。
 - a. AS/400 コマンド行で次のように入力します。
DSPHDWRSC *AHW

実行キーを押します。
 - b. 「すべてのハードウェア資源の表示」画面が表示されたら、今設置したばかりの装置の機種番号の隣の *OPT* 欄に **7** を入力します。
実行キーを押します。
システムが取り外し可能媒体装置をリストしない場合は、取り外し可能媒体装置が正しく設置されているかどうか確認してください。
 - c. 印刷装置がある場合には構成リストを印刷します。構成リストは *AS/400e* システム操作、管理および問題処理の手引き, SD88-5007-04 という資料にはさんでおきます。

注: ハードウェア資源リストを印刷するには、F6 を押します。
 - d. F3 を押して、「AS/400 メイン・メニュー」に戻ります。
- __ 28. 取り外し可能媒体装置を作動可能にする方法についての詳細は、*AS/400 Information Center* へ進んでください。
取り外し可能媒体装置の設置は完了しました。

特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31

AP事業所

IBM World Trade Asia Corporation

Intellectual Property Law & Licensing

IBM は、本書を“現状のまま”提供するものであり、明示または黙示にかかわらず、非侵害性、商業的な使用可能性、または特定の目的に対する適合性に関する黙示の保証を含み、かつそれには限定されない、いかなる保証も行いません。国によっては特定の商取引における明示または黙示の保証の放棄は認められていません。したがってこの記述はお客様には適用されない場合もあります。

本書の情報は定期的に変更されており、それらの変更は本書の新しい版で取り入れられる予定です。IBM は本書に記載された製品およびプログラムを予告なく改良または変更する場合があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、それらの製品の提供元、その出版物、またはその他の公開された情報源から入手したものです。IBM はそれらの製品のテストは行っておらず、パフォーマンスの正確性、互換性、または IBM 以外の製品に関連するその他のいかなる主張を確認できません。IBM 以外の製品の機能についての質問は、それらの製品の提供元にご照会ください。

この情報をソフトコピーでご覧の場合は、写真やカラー図表は表示されません。

本書に示されている図や仕様は、IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはなりません。

本書は、弊社が本書の中で示した特定機器の操作や計画を担当する方々にご利用いただくために作成されたものです。その他の目的には使用しないでください。

電波障害に関する特記事項

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標

次の用語は、米国およびその他の国における IBM Corporation の商標です。

AS/400
AS/400e series
IBM
OS/400
PowerPC

Java は Sun Microsystems, Inc. の商標です。

その他の会社名、製品名およびサービス名は他社の商標またはサービス・マークである場合があります。



Printed in Japan

SA88-5058-01



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Spine information:



AS/400e

5065 PCI 拡張タワー /5066 1.8M I/O タワー
セットアップ V4R5

バージョン 4